

第八十六回
帝國議會
貴族院

恩給法中改正法律案特別委員會會議事速記録第二號

付託議案

○恩給法中改正法律案

○明治三十五年法律第四十九號恩給法
查ニ關スル法律ノ昭和二十年ニ於ケル特例ニ關スル法律案

昭和二十年一月二十三日(火曜日)午前十時九分開會

○委員長(黒崎定三君) 前同ニ引續キ

マシテ是ヨリ開會致シマス、最初ニ政府當局ノ方カラ昨日ノ説明ニ補足致シマシテ資料ニ付テ説明ヲ致シタイト云フコトデアリマス、此ノ際政府委員並ニ説明員ドチカラデモ御説明ヲ願ヒマス

○政府委員(平木弘盛君) 昨日御話アリ

マシタ資料ノ事ニ付テ簡單ニ結果ヲ申上ゲタイト思ヒマス、第一ニ現行法令ヲ配付シテ貰ヒタイト云フコトデゴザイマスガ、是ハ御手許ニ配付済ミデゴザイマス、實ハ餘部ガ極メテ少クナリマシタノデ、若シ御不用ニナリマシタナラバ御返却ヘレバ非常ニ結構ト思ヒマス、次ニ御手許ニ差上ゲテアリマス數字、恩給ノ統計ノ事ヲ簡單ニ申上ゲマス、此處ニ書イテアリマスヤウナ數字デアリマスルガ、軍人、其他、合計ト三ツ數字ヲ出シテ居ルノデゴザイマスルガ、其ノ中デ人員ノ欄ハ昭和十八年、是ハ曆年デゴザイマスルガ、昭和十八年迄ノ人員ハ是ハ實數デアリマス、十九年度ノ人員ハ是ハ推定ノ數字デアリマス、金額ノ方ハ十七年迄實數デゴザイマス、十八年カラ推計ノ數字ニナツテ居リマス、左様御承知ヲ願ヒマス、其ノ次ニ今度ノ改正案ニ依ツテ豫算金額ハドノ位増加スル見込カト

云フ御質問デゴザイマシタガ、此ノ點ニ付テ申上ゲマス、先ヅ第一ハ特別改

ニ付テ申上ゲマス、先ヅ第一ハ特別改
恩給ノ關係ニ依リマシテ、恩給算定ノ基礎額ノ制限ノ撤廢ノ問題デアリマス、二階級以上進級シタモノニ對シテ今迄ノ制限ヲ適用シナイ、アノ規定ノ問題デアリマス、此ノ問題ハドノ位増加スルカト云フコトニナリマスルコト云フト、一體今後ドレデケ特攻隊ノ人ガ出ルカト云フ問題ニ關聯致シマス關係上、今後ドレ位増加スルカト云フコトヲ豫想スルコトハチヨット困難デアリマス、不可能ニモ近イ問題デゴザイマス、サウデアリマスルカラ唯今迄ニドノ位アツタカト云フ數字ヲ申上ゲマシテ御參考ニ供シタイト思ヒマス、今度ノ改正法ノ附則ニ依リマシテ過去ノモノモ救済スルコトニナルノデゴザイマスルガ、詰リ現在ノ規定ニ依リマスルト云フト、退職又ハ死亡ノ一年內ニ、二階級ヲ超エテ昇給シタ者ハ二階級ニ止ムルト云フコトニナツテ居リマス關係上、死亡前ニ一階級上ガリマステ、死亡ノ時ニ二階級上ガリマス者、詰リ一年ニ三階級上ガリマス者ニ對シマシテハ、現行法ニ於キマシテハ之ヲ二階級ニ止メテ居ル譯デアリマス、ソレガ今度ノ改正ニ依リマシテ三階級ノ額ヲ支給スルコトガ出來ルコトニナルノデゴザイマス、是ハ將校以上ニ付キマシテハ過去ノ事例ニ依リマシテモ極メテ僅少デアリマス、一二例ガナイデハアリマセヌガ、例ヘバ津島團長ノ加藤軍神ハ死ナレル前ニ少佐カラ中佐ニナラレマシテ、戰死サレマシタ時ニ中佐カラ少將ニナラレマシテ、結局三階

級上ガラレタノデアリマスルガ、現在ノ規定ニ依リマシテ、二階級、詰リ少

級上ガラレタノデアリマスルガ、現在ノ規定ニ依リマシテ、二階級、詰リ少
將デアリマスルケレドモ、大佐ノ恩給ヲ出シテ居ルト斯ウ云フコトニナリマスルガ、今度ハ此ノ附則ニ依リマシテ、少將ノ遺族扶助額ヲ出スコトニナルノデアリマスルガ、サウ云フ例モナイデハアリマセヌケレドモ、其ノ該當者ハ極メテ少イノデアリマス、主ニ下士官ノ問題デゴザイマス、過去ノサウ云フ場合ヲ今度ノ改正法ノ附則ニ依リマシテ救済スルヤウナ件數ハ大體百三十件ト認メマス、今申シマシタヤウニ、其ノ中ニハ將校ハ極メテ少イ、下士官ガ非常ニ多イ、斯ウ云フコト考ヘラレマスノデ、其ノ金額ハ一年ニ約一萬圓ト推定致シテ居リマス、是ガ過去ノ救済ノ問題デゴザイマス、ソレカラ其ノ次ハ將來ノ問題デゴザイマスルガ、將來ノ問題ト致シマスレバ、大部分ハ此ノ特別改進黨ニ依リマシテ、二階級、三階級、四階級上ガリ者ガ出來ルノデアリマスルガ、之ガ今後ドノ位出ルカト云フコトハ職局ニモ關係致シマスシ、期間ニモ關係致シマスシ、先程申上ゲマシタヤウニ豫想スルコトハ出來ナイノデアリマスルガ、サウ云フ特別改進黨ニ該當致シテ居リマシテ數階級上ガリマシタ特別改進黨ノ該當者ハ〇〇件デゴザイマス、是ハハマア現在迄ノ數字デゴザイマスルカラ、今後ソレハドレデケ増加スルコト云フコトハ曩ニ申上ゲマシタヤウニ豫想スルコトハ困難デゴザイマス、是ガ今度ノ制限ノ撤廢ニ依リマシテドノ位殖エルカト云フコトヲ豫想シマス、是モ階級其ノ

他ニ依ツテ非常ニ違フモノデゴザイ

他ニ依ツテ非常ニ違フモノデゴザイ
スカラ、正確ナコトハ勿論申上ゲラレマセヌガ、大體一萬三千圓位デヤナイカト斯ウ云フヤウニ考ヘマス、ソレカラシマスト只今迄ニ分ツテ居リマスル金額ハ二萬三千圓、マア斯ウ云フコトデゴザイマス、ソレ以上ノ事ハチヨット申上ゲ兼ネルノデゴザイマス、次ハ傷病年金ノ支給ノ給與ノ條件ノ緩和デゴザイマス、詰リ傷病年金ヲ受ケルヤウナ傷病ヲ受ケマシテ退職スル場合、現在ハ職ニ堪ヘズシテ一年以內ニ退職スルコト云フ條件ガアリマスガ、其ノ條件ヲ取ツタ譯デアリマスガ、ソレニ依ツテドノ位増加スルカト云フ問題デゴザイマスルガ是モ此ノ前説明ガアリマシタヤウニ、現在ニ於キマシテハ退職サセズニ、續イテ勤務致サセテ居ル狀況デゴザイマスルノデ、之ニ該當スル人間ガドノ位居ルカト云フコトハ只今ノ處判明致シテ居リマセヌ、唯傷病年金ノ金額ト致シマスレバ、大體今迄ノ金額カラ見マスルト云フト、一人當リ百八拾圓ニナ

月附ケルノカト云フ問題ガ決リマセヌ

月附ケルノカト云フ問題ガ決リマセヌ
ト分ラナイノデアリマス、又サウ云フ問題ガ決リマシテモ、今後ドノ位シレガ續カト云フコトモ實ハ分ラヌノデアリマシテ、ドノ位増加スルカト云フコトヲ豫想スルコトハ極メテ困難デゴザイマスルガ、唯只今ノ處申上ゲラレマシタコトハ、內國交戰地勤務加算ヲ附ケル地域ニ付キマシテハ、是モ勿論勅裁ヲ仰イデ決メルコトデゴザイマスルガ、只今ノ處政府ノ方針ト致シマシテハ、南洋群島其ノ他ノ離島等ニ之ヲ附ケル、只今ノ情況ニ於テハ内地等ニ於テハ附ケナイト云フ方針デ進マレテ居ルヤウニ承ツテ居リマスルガ、サウ致シマスルト假ニ地域ハサウ云フ地域ニ致シマシテモ、今度二箇月附ケルノカ、一箇月附ケルノカト云フコトモ決定ツテ居リマセヌ爲ニ其ノ點ハハツキリ申上ゲ兼ネルノデゴザイマス、唯假ニ之ヲ南洋群島其ノ他ニ附ケルト致シマシテ、二箇月附ケラドナルカト申シマスルコト云フト、大體ニ於キマシテ警察官、判任官等ガ多數ドラウト思ヒマスルガ、二箇月附ケマシタ場合ニ於キマシテハ、警察官ニ於キマシテハ一年二十五圓、判任官ニ於キマシテハ一年二十五圓、ソレニ或人數ヲ掛ケマシタモノガ一年ノ増加、斯ウ云フコトニナルノデゴザイマス、金額トシテハ極メテ少イモノト豫想サレルノデアリマス、次ハ植民地加算ノ問題デゴザイマス、是ハ主ニ軍人ノ問題デゴザイマシテ、臺灣、朝鮮等ヨリ志願致シマシタ軍人ノ問題デゴザイマスルガ、是ハ臺灣、朝鮮ニ於キマシテハ加算ノ程度

が一箇月ニ付三分の一箇月ト云フコトニナツテ居リマスカラ、是亦極メテ金額が少イノデゴザイマシテ、下士官兵ニ付キマシテハ臺灣、朝鮮等二三年位勤務致シマシテ六七圓位一人ニ付テ増加スルコト云フコトニナルヲラウト思ハレマスノデ、是モ金額トシテハ極メテ少イモノト考ヘラレルノデアリマス、次ニ外國ノ恩給デ、何カ參考ニナルヤウナモノガナイカト云フ御話デゴザイマシテ、實ハ「ドイツ」ノ狀況ヲ知リタイト思ヒマシテ、「ドイツ」大使館ニ照會シテ見タノデアリマスガ、「ドイツ」大使館ニ於キマシテハ實ハ資料ガゴザイマセヌ、唯「ドイツ」大使館ニ勤務シテ居リマス某軍人ノ個人的ナ知識ヲ聞イテ參ツタノデアリマス、從ヒマシテ細カイ事ハ能ク分リマセヌ、或ハ間違ヒガナイトモ限リマセヌガ、其ノ點豫メ御了承願ヒマス、先ヅ「ドイツ」ニ於キマスル恩給受給期間デアリマスガ、「ドイツ」ニ於キマシテハ十年以上デ恩給受給ニナツテ居ルヤウデアリマス、「ドイツ」ノ軍人ニ付テハ斯様ナコトニナツテ居リマス、日本デハ下士官ガ十二年、將校ガ十三年、是ガ最低恩給受給期間ニナツテ居リマスガ、「ドイツ」ハ十年デアリマス、ソレカラ公務ニ因リマシテ傷病、疾病ニ罹リマシタ者ニ對シマシテモ恩給ヲ支給シテ居リマス、是ハ日本ト大體同ジヤウデアリマス、其ノ次ハ恩給額デゴザイマスガ、恩給額ハ階級ト在職年數ニ依ツテ之ヲ定メル、是ハ日本ト同ジヤウデゴザイマス、ソレカラ恩給ノ最高額デゴザイマスガ、最高額ハ俸給ノ十分ノ九ト云フコトニナツテ居ルヤウデゴザイマス、ソレカラ最低ハ二分ノ一、斯ウ云フコトニナツテ居ルヤウデ

ゴザイマス、日本ハ最低ハ三分ノ一デアリマスガ、最高ハ二分ノ一、二分ノ一デモデアリマセヌ、百五十分ノ七十三デアリマシテ、二分ノ一ヨリモテヨツト少イノデアリマス、ソレデ大體申シマスト、「ドイツ」ノ最低ト日本ノ最高ガ大體同ジヤウデゴザイマス、斯ウ云フ風ニ言ヘルノデハナカラウカト思ヒマス、ソレカラ家族加給ト申シマスガ、日本デ言ヘバ家族加給デアリマスガ、十六歳未満ノ子供ニハ家族加給ヲ附ケルガ、「ドイツ」デハ子供ニハ附ケナイ、斯ウ云フ制度ニナツテ居ルヤウデゴザイマス、是ハ日本ノ制度ニ於キマシテハ、戰死其ノ他ノ公務ニ因ツテ死亡シタ者ノ遺族扶助料ノミニ此ノ家族加給ノ制度ヲ認メテ居リマスガ、「ドイツ」ニ於キマシテハ恩給ニ之ヲ認メテ居ルヤウデアリマス、ソレカラ日本ト違ヒマスコトハ、「ドイツ」デハ斯ウ云フ子供ニハ加給ヲ認メテ居ルヤウデアリマスガ、妻ニ付テハ其ノ家族ノ員數ニハ含ンデ居ラナイ、斯ウ云フコトニナツテ居ルヤウデアリマス、ソレカラ傷病軍人、受傷病者者ニ對シマシテハ一定ノ加給ガアルヤウデアリマス、是ハ日本ニ於ケル増加恩給等ニ依ツテ受傷病者ニ出シテ居ル制度ト同ジヤウデゴザイマス、ソレカラ扶助料デアリマスガ、扶助料ハ恩給ト二分ノ一、是ハ日本ト同ジヤウデゴザイマス、ソレカラ日本ノ扶助料トチヨツト違ヒマスルノハ、日本ノ扶助料ハ公務其ノ他ニ因リマスル戰死トカト云フモノニ付キマシテハ特ニ厚ク、遺族扶助料モ普通ノ扶助料ヨリモ非常ニ多ク出シテ居ルノデアリマスガ、「ドイツ」ニ於キマシテハ戰死ノ場合ノ扶助料モ普通ノ扶助料モ皆同一ノヤウデゴザイマス、是ハ「ドイツ」ニ於キマシ

テハ、子供ノ教育トカサウ云フ風ナ問題ハ他ノ方法デ行ツテ居ルト云フ點モアルヤウデゴザイマスシ、又恩給以外ノ軍事扶助ノ事ト綜合シテ考ヘナケレバ、ドチラガ善イトカ惡イトカ云フコトモ言ヘヌ問題デアリマスシ、事情ガ違フノデアリマスカラ、斯ウ云フ風ニ違フノデハナイカト思ヒマス、ソレカラ恩給ノ選擇ノ問題デアリマスルガ、是ハ少シ専門ノニナリマスルガ、恩給ガ二ツ發生スル場合ニハ本人ノ選擇ニ依ル、是ハ日本ト同ジヤウデアリマス、次ハ加算ノ問題デアリマス、從軍加算ニ付キマシテハ「ドイツ」ニ於キマシテハ、前大戰ノ際ニハ一年ヲ二年トスル、日本流ニ言ヒマスト一月ニ付一月ヲ加算スル、斯ウ云フヤウニ前大戰ノ時ニハナツテ居ツタヤウデアリマスガ、今度ノ大戰ニ於キマシテハ、ドウ云フ風ニナツテ居ルカト云フコトハ、現在ノ處、不明ダト云フ風ニ申シテ居ルヤウデアリマス、ソレカラ恩給ノ停止ノ問題デアリマスガ、軍人バカリデヤナイト思ヒマスルガ、軍人ガ恩給ヲ貰ヒマシテ、官吏ニ再就職シタ場合ハ恩給ヲ停止スル、是ハ當然ノコトデアリマス、ソレカラ軍人其ノ他退職者ハ成ルベク官廳ニ於テ使フヤウナ風ニ運用ガナツテ居ルヤウデアリマシテ、民間ニ行ツテ働クト云フコトハ極メテ稀ナ制度ノヤウニ聞イテ居リマス、從ヒマシテ民間ニ行キマシテ多額ノ收入ガアルト云フ故ヲ以テ恩給ヲ停止スルト云フ制度ハ、「ドイツ」ニ於テハナイヤウニ申シテ居リマス、以上極メテ簡單デゴザイマスルガ、適當ナ資料モゴザイマセヌシ、個人的ナ知識ヲ聽イテ來タダケデゴザイマス、何卒其ノ點デ御了承願ヒタイト思ヒマス

○政府委員(川島孝彦君) 昨日國勢調査ヲ中止致シマシタ外國ノ事例ニ付テ資料ノ御要求ガゴザイマシタノデ、調査マシタ所ヲ御手許ニ差上ゲテ置キマス、ソレニ付テ少シ御説明ヲ申上ゲマス、ソレハ、此ノ前ノ第一次歐洲大戰ニ於キマシテハ、「ドイツ」ト「フランス」ト「ロシア」ガ國勢調査ヲ施行ヲ中止致シテ居ルノデアリマス、其ノ中「ドイツ」ト「フランス」ハ從來カ定期的ニ定ツテ施行シテ居ツタ國勢調査ヲ中止シマシタ、「ロシア」ハ從來不定期デアリマシタ、唯千九百十五年ニ國勢調査ヲ施行スルト豫定シテ居リマシタ所ヲ、戰爭ガアリマシタ爲ニソレヲ中止致シマシタ、「ドイツ」ト「フランス」ハ一年ズレテ居リマスガ、是ハ國勢調査ヲ施行スル最初ノ年ガ違ヒマスノデ、「ヨーロッパ」ニハ御承知ノ通り西曆デ申シマシテ、九ノ付イタ年ト、一ノ付イタ年ト二通りノヤリ方ガゴザイマシテ、最初ノ國勢調査ヲ施行シタ年カラ五年目、或ハ十年目ト云フヤウナ關係カラ、ズレテ居ルノデアリマス、ソレカラ御參考迄ニ後ノ方デモ書イテ置キマシタガ、前大戰ノ時ニ、此ノ三箇國以外ノ參戰國ハソレデハドウ云フ狀態デアツタカト申シマス、「アメリカ」ハ「イギリス」ナドハ國勢調査ガ丁度十年目、十年目デ、而モ其ノ時期ガ千九百十年、千九百二十年、或ハ千九百一十一年、千九百二十一年ト云フ風ニ、丁度大戰ノ期間ヲ飛ビ越エテ其ノ該當年ガアリマシタ爲ニ、中止ヲスルコトナクシテ済ミマシタ、サウ云フ點ハ、其ノ他ノ國例ヘバ「オーストリア」ト「イタリア」ト「ベルギー」アタリモ同様デ、十年目毎デ、其ノ間ニ戰爭ガアリマシタ爲ニ、中止ヲ致シテ居リマセ

ヌ、此ノ戰爭ガ起リマシタ際ニ國勢調査ヲ中止スル事情ニ付キマシテハ、ドウモ各國ノ狀況ニ付テ資料ガ手許ニゴザイマセヌノデ、ハツキリ分リマセヌガ、私共ノ經驗ニ依リマス、大規模ノ動員ヲ致シマシタ際ニ、軍隊或ハ軍艦、御用船等ニ在リマスル軍人ヲ國勢調査ノ方法デ以テ調べルト云フコトガ、事實上非常ニ困難ナノデゴザイマス、ソレカラ又召集或ハ歸還ト云フヤウナ、非常ニ軍隊内部ト一般ノ統後ノ方面トニ移動スル人ノ數ガ多クテ、而モ頻繁デアル、サウ云フヤウナ關係カラ、調査シマシタ後ノ數字モ、實際行政ノ計畫等ニ計算ニ使フ際ニハ不十分ナ點ガ多イノデ、サウ云フ點カラ矢張り中止シタモノデアラウト存ゼラレマス、ソレカラ今回ノ世界大戰デハドウデアラウカト云フコトニ付テ調べテ見タノデアリマスガ、ドウモ事情ガハツキリ致シマセヌ、「アメリカ」ダケハ千九百四十年ニ國勢調査ヲ施行シタコトガ確實デゴザイマス、ソレカラ「ソ」聯ト「ドイツ」ハ共ニ千九百三十九年ニ國勢調査ヲ致シテ居リマスノデ、其ノ後國勢調査ヲ致シテ居ラナイヤウニ思ハレマスガ、近頃ノ國際情勢カラ見マス、ト、人的資源秘匿ノ關係上、ナカノ調査ヲヤツタカ、ヤラナイカト云フコトニ付テハ公表致シマセヌノデ、ヨク分リマセヌガ、多分「ソ」聯ト「ドイツ」デハ其ノ後國勢調査ヲ施行シテ居ナイノデアラウト思ハレマス、ト申シマスノハ、「ソ」聯ト「ドイツ」ノ統計制度ガ、「ソ」聯ノ方デハ千九百三十三年頃、「ドイツ」ニ於テハ千九百三十三年頃カラ非常ニ新式ノ統計制度ニナリマシタ爲ニ、國勢調査ヲ施行シタクテモ自國內ノ國民ノ狀況ガ分ルヤウナ仕組ヲ執

ツテ居ルノデアリマス、ソレカラ最後ニ、昨日不確カナ記憶ノ儘申上ゲタ事ガアリマシテ、ソレガ誤ツテ居リマシタノデ、甚ダ申譯ナイコトデアリマスガ訂正ヲ致シタイと思ヒマス、ソレハ「ソ」聯ハ千九百二十六年ノ國勢調査ヲ中止シタト申上ゲマシタガ、調べテ見マス、千九百二十六年ハ行ヒマシタ、ソレカラ千九百二十六年ノ第三回ノ國勢調査ハ中止シタノデハナクシテ、施行シタ後ニ、其ノ調査資料ヲ廢棄シマシテ、改メテ千九百三十九年ニ國勢調査ヲ施行シタ、之ヲ記憶ガ不十分デアリマシタ爲ニ誤ツテ申上ゲマシタノデ、其ノ事ヲ「ロシア」ノ項目ニ少シ書イテ置キマシタ

○下條康慶君 今ノ「ドイツ」大使館デ御調ニナツタ「ドイツ」ノ恩給ノ最高額十分ノ九ト云フノハ、在職年ハ何年デナルノデスカ

○政府委員(平木弘君) ドウモ詳シイ事ハ能ク分リマセムガ、日本デ言ヒマスト百分ノ七十三ガ最高ニナツテ居リマス、是ハ在職年數ガ非常ニ長イ場合デナイト百分ノ七十三ニハ日本デハナラナイ譯デアリマスガ、「ドイツ」デハ二十五年以上居リマス、十分ノ九ト斯ウ云フコトデサウデゴザイマス

○下條康慶君 ソレカラ統計局長ニ伺ヒタイノデスカ、「ソ」聯ト「ドイツ」ニ何カ國勢調査ヲ施行シナイデモ國內情勢、殊ニ人口事情ガ能ク分ル方法ガアルト云ハレタノデアリマスガ、ソレハドウ云フノデアリマセウカ

○政府委員(川島孝彦君) 「ソ」聯ト「ドイツ」トハ多少違フヤウデアリマス、能ク分ツテ居リマスノハ「ソ」聯デアリマスガ、アスコハ人口動態統計ガ非常ニ完備シテ居リマス、ソレガ爲

ニ日本デ申シマス、戸籍簿ガ登錄ノ裏帳ニナリマスガ、其ノ戸籍簿ガ機械操作ニ依リマシテ直グ集計ガ出來ルヤウナ制度ヲ作ツテ居リマス、サウシテ一面ニ國內條件ト申シテ居リマスガ、國民一人々々手帳ヲ持タセマシテ、其ノ手帳ト役場ニアリマス戸籍臺帳トノ一致ヲ何時モ圖ルヤウナ方法ヲ講ジテ居リマス、從ツテ、出生、死亡或ハ結婚、離婚ノ外ニ地域のノ異動又職業ノ異動ト云フモノガ臺帳ニ絶エズ實際ト一致スルヤウニ書換ヘ、記載、舊直シヲ致シマシテ、ソレガ必要ナ時ニ何時モ集計ニナツテ現レテ來ル、斯ウ云フ制度ニナツテ居リマス、「ドイツ」モ大體サウ云フ風デアリマスケレドモ、其處ノ點ハハツキリ致シマセム、今ノ食糧ノ配給等ノ點カラ考ヘマシテ、矢張り「ソ」聯ト同ジヤウニ臺帳其ノモノヲ直グニ統計資料ノ材料ニ使フヤウナ制度ヲ布イテ居ルコトガ分ツテ居リマスガ、此ノ實際ノ異動ト臺帳ノ異動トヲ一致サセル點ハドウ云フ風ニナツテ居リマスカ、マダ分リマセム

○下條康慶君 第一次歐洲大戰當時ノ國勢調査ヲ施行シナカッタ場合ニ、其ノ代リニ何カヤツテ居ッタノデセウカ、ヤラズニ居ツテ譯デセウカ

○政府委員(川島孝彦君) 「フランス」ト「ロシア」ハ其ノ儘何モヤツテ居リマセム、ソレカラ「ドイツ」ハ戰爭中廢メマシタケレドモ、戰爭ガ済ミマシテカラ普通ノ定期ノデナクテ、戰爭直後ニ調査ヲ致シテ居リマス、千九百十九年ニ國勢調査ヲ致シテ居リマス、ソレデマア補ツタヤウニ思ヒマス

○下條康慶君 法律ニハ臨時調査ヲ行フト云フコトニナツテ居リマスガ、今迄アレヤツタコトガアルノデスカ

○政府委員(川島孝彦君) ソレハ一回ゴザイマス、詰リ臨時ニヤル必要ガアリマシタ爲ニ、アノ法律第三號ヲ挿入シタ譯デアリマス、ソレハ昭和十四年ニ國民ノ消費ニ關スル調査ヲ致シマシタ、是ハ矢張り全版圖一齊ニ國勢調査ヲアルノヲ適當ト認メマシテ、國勢調査ニ關スル法律ヲ改正ヲ願ヒマシテ、ソレニ依ツテヤツタ譯デアリマス、其ノ後ハ一回モゴザイマセム

○下條康慶君 サウシマス今度國勢調査ヲ一時中止シマシテ、臨時調査ヲヤラレルノデスカ、ヤラナイデ置カレルノデスカ

○政府委員(川島孝彦君) 實ハマダ其處迄ハ考ヘテ居リマセム、少シ餘談ニ互リマスケレドモ、今年ノ國勢調査ハ中止致シマシタ後デ、モウ全然本年ハ國勢調査ヲヤラナイコト申シマス、現在ノ處デハ國勢調査ノヤウナモノハ全版圖一齊ニハ出來マセムケレドモ、必要ナ範圍ニ於テ、又必要ナ時期ニ人口調査ヲシナカッタハナラヌカモ知レルト云フヤウナ狀況ガ看取サレルノデアリマス、サウ云フ際ニハ昨年二月ニ施行致シマシタ人口調査ト、國勢調査ニ關スル法律ノ規定デハナクシテ、資源調査法ノ第一條ノ規定ニ基キマシテ、區域ヲ限定シテ人口調査ヲ致シタイト思ツテ居リマス、此ノ紙ノ不足ナ時、又勞務、輸送等ノ不便ナ時ニ、ソレヲ押切ツテ遂ヤル必要ガアルカドウカト云フ點ニ付テハ、關係當局デ今考究中デゴザイマス、マダドウナリマスカ、決ツテ居リマセム

○子爵藤井兼雄君 國勢調査ニ付テ質問致シテ宜シウゴザイマス

○委員長(島崎定三君) 御答、致シマスガ、付託案ガ恩給法中改正法律案ト

國勢調査ノ法律ト二ツデゴザイマスカラ、何レデモ宜シウゴザイマスカラ御質疑ガアリマスレバ、御質疑ノ願ヒタイと思ヒマス

○子爵藤井兼雄君 ソレデハ國勢調査ニ付テ質問致シタイと思ヒマス、今度國勢調査ガ施行致サレナイヤウニナルヤウデゴザイマスガ、此ノ國勢調査ニ代リマシテ自國內ノ國民ノ情勢ノ調査ヲ何等カ他ノ方法デ致シマシテ、國勢調査トハ違ヒマシテ、他ノ方法デノ資料ダケハ御作成ニナツテハ如何カト存ジマスガ、ソレニ付テ伺ヒタイと思ヒマス、尙國勢調査ニ依ツテ調査致シマス各部分ハ大體兵役ニ關スルコト、或ハ産業ニ關スルコト、或ハ人口ニ關スルコトト云ツタヤウナコトハ大體各部門デ調査ガ出來テ居ルコトト存ジマス、サウシマス比較的簡單ニ此ノ國勢調査ニ代リマシテ行フコトガ出來ヤシナイカト存ジマスガ、此ノ國勢調査ニ代リ何等カノ資料ダケハ御作成ニナツテハ如何カト存ジマス、ソレニ付テチヨット伺ヒ致シマス

○政府委員(川島孝彦君) 今御尋デゴザイマシタガ、國勢調査ハ廢メルケレドモ、人口ニ關スル何等カノ資料ヲ調査シタラドウカト云フ御質問ノヤウデゴザイマスガ……

○子爵藤井兼雄君 イヤ、人口ノミナラズ此ノ自國內ノ各情勢、即チ兵役トカ、産業トカ、職業トカ或ハ所屬ノ産業トカ、何レノ部門ニ互リマシテモ簡單ニ國勢調査ニ代リ調査ノ資料ヲ御作製ニナツテ置ク必要ハゴザイマセムデセウカ

○政府委員(川島孝彦君) ソレハ其ノ必要ガアルノデゴザイマス、アルケレドモ何分仕事ガ龐大ナモノデアリマシ

テ、御手許ニモ差上ゲマシタヤウニ、極ク簡單ナ調査ヲ致シマスノニモ、紙ノ數量、或ハ勞務ナリ、或ハ時間ナリガ非常ニ掛ルノデアリマス、サウ云フモノヲ押切ツテ、ソレダケ掛ツテモ今ヤル必要ガアルカドウカ、サウ云フ點ニナリマス今關係各方面ト連絡ヲシマシテ考究中デゴザイマス、ソレハ實ハ昨年ノ二月二十二日現在デ人口調査ト云フノヤリマシタ、是ハ單ニ人口數ノミナラズ、職業モ、兵役ノ關係モ配偶ノ關係モ皆調べテアリマス、デ問題ハサウ云フ材料デ今年モ間ニ合フダラウカ、或ハ今年費用ヲ掛ケ、物資ヲ費シテモ矢張り新シイ資料ヲ作ラナケレバナラヌカ、斯ウ云フ點ハ今考究中ナ譯デゴザイマス、御尋ノヤウニアリマス、ソレカラ各部門ト連絡ト云フコトニ付テ、御話ガゴザイマシタガ、是ハ私共非常ニ前カラ痛感ヲシテ居ルノデアリマシテ、兵役ノ關係、或ハ職業ノ關係ヲソレハノ部門デ其ノ現在ノ數ナリ、或ハ異動ノ狀況ナリヲ調べテ置キマスレバ、極ク簡單ナ人口調査デ以テ相互ヒニソレヲ連絡シ合ヘバ必要ナ資料ガ出ル譯デアリマス、之ヲサウ云フ制度ヲ建テ、居リマスノガ「ソ」聯ト「ドイツ」デゴザイマス、デアリマスカラ、サウ云フ制度ガアリマスルト、國勢調査ト云フヤウナ大掛リデナクテモ非常ニ材料ハ集メ易イノデアリマス、現在ノトコロデハサウ云フ行政ノ各部門ニ於キマスル部門々々ノ統計ガ相互ヒニ連絡ノナイバラ「ナ」統計ニナツテ居リマス爲ニ、矢張り實際ニ役ニ立ツ統計資料ヲ得ヨウト致シマス、一時ニ職業モ、兵役關係モ、配偶關係モ、總テヲ調査ヲシナケレバナラ

スト云フ狀況ニアリマス

○下條康慶君 今ノ問題ニ付テモウ少シ御伺ヒシタイノデアリマスガ、本年ハ簡易中間調査ヲ行フベキ年デアリニモ拘ラズ、諸般ノ情勢ハ其ノ施行ニ困難ナルヤウニ見受ケラレルコトハ誠ニ同感ナノデアリマスガ、何トカ簡易ナ方法デ出来ナイカト云フ間ヒナンデス、詰リ例ヘバ今迄ヤツテ居タヤウナ方法デナクシテ、隣組制度ヲ利用シテ努力ノ點ニ付テモ、例ヘバ紙ノ點、費用ノ點ニ付テモ省イテ、ソレコソ本當ニ簡易ナル方法デ出来ナイカ、今御答ニモアリマシタヤウニ、其ノ調査ノ絶對ニ必要ナコトハ疑ヒハナイ、是ハ各方面ヲ通ジテ、又先程御言葉ノ中ニアリマス、ソレヲ以テ將來役立ツカドウカハ疑問デアリマスガ、現在ノ人口事情ヲ知ルコトハ昨今必要デアルト思ヒマス、デアリマスカラ、何等カ簡易ナ方法デ出来ナイカ、又地域モ全版圖ニハ困難ダト思ヒマス、是ハ併シナガラ内國ダケハ少クトモ出来ルノデハナイカトモ思フノデス、サウ云フ地域ニ付、方法ニ付何カ簡便ナ方法デ其ノ實體ノアレヲ擧ゲル、内容ヲ示スヤウナモノハ出来ナイカト云フコトヲ伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(川島孝彦君) 御尋ノ點ハ實ハ昨年施行致シマシタ人口調査ガ御參考ニナルト存ジマスガ、是ハ大體隣組ヲ通ジテ調査ヲ致シマシタ、ソレ迄ハ隣組ノ人口調査ト云フノハ幽霊人口ガ多クテ非常ニ困ツタノデアリマスガ、ソレヲ工夫致シマシタ爲ニ、出来上リマシタ結果ヲ見マスルト、殆ト幽霊人口ハ出テナイト云フ好イ結果ヲ生ジマシタ、ソレカラ從來ノ國勢調査ハ、

大體調査票ヲ中央ノ統計局ヘ集メマシテ、集計ヲ致シマシタガ、昨年ノ人口調査デハ其ノ集計ニ付キマシテ各市町村デヤツテ貰フ、處ガ唯人ノ頭數ダケヲ數ヘマスノハ非常ニ簡單デアリマスガ、其ノ當時調査ヲ致ス目的トシテ、兵役別ニ分ケルトカ、職業別ニ別ケルトカ、年齢別ニ分ケルトカ、斯ラ云フ複雜ナ集計ガ必要デゴザイマシタ、併シソレモ統計局ガ指導致シマシテ、地方ノ役場ノ人達ヲ訓練致シマシテ、ソレデヤラシテ見タノデアリマス、之モ大體成功ヲ收メマシタ、ソシナヤリ方ヲ致シマス、割合ニ簡單ニ行ケルト思ヒマス、唯昨年ト今年トハ情勢ガ大分違ツテ居リマスモノデスカラ、ソレハ昨年ノ人口調査ノ必要ハ、主トシテ動員計畫ノ必要カラ起ツテ參リマシテ、ドウシテモ三月末迄ニ資料ヲ得テ、ソレニ依ツテ動員後ノ國內産業ノ情勢ガドウナルカ、之ト睨ミ合ハセテ、動員計畫ヲ立テルト云フヤウナ必要ガアリマシタ爲ニ、急速ニ其ノ調査ヲ進メタ、併シ紙ガ不足ノ爲ニ其ノ調査ニ非常ナ困難ヲ致シマシテ、是ハ大分東京附近ノ紙ノ需給ニ差シ響イタヤウナ狀況デアリマス、ソレカラ印刷ガ普通ノヤリ方デハ間ニ合ヒマセヌ爲ニ、新聞社ノ高速度輪轉機デ印刷スル、處ガ高速度輪轉機ハ新聞ノ印刷ニハ宜イノデアリマスレドモ、調査票ノヤウナ小サク切斷ヲシナケレバナラヌト云フヤウナ設備ガナイ爲ニ、新聞社ノ輪轉機ヲ使ツテカラ又個人業者ノ切斷機ヲ動員スル、而カモ印刷ノ速度ガ速イノデ、切斷機ノ方ハ遅イト云フヤウナ關係デ、印刷ニ非常ニ時間ガ掛カル、ソレカラ今度ハ輸送及ビ調査後ノ調査票ノ廻送ニ付キマシテハ、所ニ依

リマシテハ到底所期ノ時期ニ調査票ガ到達シナカッタ點モアリマス、ソレカラ又沖繩縣ノ如キハ、折角調査シマシタ調査票ガ、一月バカリハ行方不明ニナリマシテ、其ノ後ニ漸ク出来マシタ、是ハ大體アノ海上ノ交通ガ非常ニ危険ナ爲ニ支障ヲ來シタヤウデアリマス、統計局カラ指導ニ行キマシタ人モ、調査ガ済ンデカラ一月バカリハ向フヲ動ケナカッタ、歸リニ三回モ潜水艦ノ襲撃ヲ喰ツタト云フヤウナ狀況デアリマシタ、サウ云フ實行致シマスル爲ノ困難ノ情勢ハ、去年ニ較ベマシテ今年ハ一層酷カラウト思ヒマス、去年ハ必ズシモ内地全部集計シナクテモ宜イ、モウ出来ナイ所ハ之ヲ切り捨テ、モ早ク統計ノ結果ヲ得タイト云フヤウナコトデアリマス、ソシナ狀況デ戦局ト睨ミ合セノ點カラ申シマス、今年ハドコガドウ云フ風ナ狀態ニナリマスカ分リ兼ねマスノデ、ドウシテモ統計表ノ必要ノ程度、ソレカラソレヲ實施シ得ル可能ノ程度、是等ヲ睨ミ合セテ決メタイト思フノデアリマス

○下條康慶君 若シ假リニ國勢調査モ行ハナイ場合ニ生ジタ諸般ノ事情ガ、ソレニ代ルベキ調査モ出来ナイト云フ場合ニ何カ推計人口ヲヤツテ居ルト思ヒマスガ、其ノ推計人口デ間ニ合シテ行クト云フ意味ナンデセウカ

○政府委員(川島孝彦君) 是ハ大分根本ノ問題ニナルノデアリマシテ、ソレニ付キマシテハ、マダ十分ニ研究ノ域ニ達シテ居リマセヌケドモ、政府ノ部内デハ國勢調査ト國民登錄トヲ一緒ニ合シタヤウナ制度ヲ考ヘテ、サウシテ實施スベキデヤナカラウカト云フヤウナコトヲ寄リ々々考ヘテ居ルヤ

ウナ次第デアリマス

○下條康慶君 恩給ノ方ニ付テ伺ヒタイト思ヒマスガ宜シウゴザイマス

○委員長(黒崎定三君) 宜シウゴザイマス

○下條康慶君 今回恩給法ノ一部改正ノ案ガ御提案ニナツタノデアリマスルガ、私ハ恩給ノ金額ノ少イ者ニ對シテ増額ノ必要ガアルノデヤナイカト云フコトヲ豫テ考ヘテ居ル一員デアリマス、何故ニ此ノ際御提案ナカッタカト云フコトヲ御尋ネシタイノデアリマス、御承知ノ通り、恩給ハ俸給ノ後拂ヒデアルト私共考ヘテ居ルノデアリマス、俸給ノ方ノ制度ニ増俸ガナイコトデアルカラ當然恩給其ノモノニハ増額ガナイ譯デアリマスルガ、併シナガラ俸給受領者ニ付テハ、或ハ昇給ノ速度ヲ早メルトカ、又戰時手當、家族手當等ノ諸般ノ手當モアリマシ、又本年ハ十六議會ニハ更に特段ノ加給制度ガ加ルヤウニ思ツテ居リマス、勤続手當ト云フヤウナモノモ加ルヤウニナツテ居ルト思ヒマス、其ノ他事變前ヨリハ或ハ賞與ニ於テモ加ツテ居ルシ、又今回百五十圓以下ノ俸給者ニ付テハ一月半ノ特別賞與ガ出ルヤウナ豫算ガ組ンデアリマス、サウ云フ風ニ俸給者ニ付テハ、俸給自體ニハ何等直接ノ異動ハナイケレドモ、ソレヲ繞ツテ各種ノ手當等ガ支給サレテ相當ニ緩和サレテ居ルノデヤナイカト思フノデアリマス、單リ恩給受領者ニ付テハ左様ナコトガナイヤウデアリマスカラ、相當困ツテ居ルヤウニ思ヒマシテ、現ニサウ云フコトヲ聞タノデアリマスガ、無論高額ノ恩給者ニ付テ望ム次第デハナイノデアリマス、低額ノ恩給者ニ付テハ何等カ戰時加給式ノモノガ宜イノデヤナイ

カ、斯ウ云フコトヲ考ヘサセラレルノデアリマシテ、斯ウ云フ點ニ付キマシテ政府ノ御所見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(平本弘君) 只今ノ恩給額増加ノ問題デアリマスガ、最近ノ物價事情ヲ考ヘマスルト、只今ノ御意見誠ニ尤モダト考ヘル次第デアリマス、ソレニ付キマシテハ、當局ト致シマシテモ色々ノ點カラ検討ヲ加ヘテ居ルノデゴザイマス、事情誠ニ御尤モデゴザイマスルガ、此ノ戰時中デモゴザイマシ、各方面トモ色々犠牲ヲ忍ンデヤツテ居ル際デゴザイマスルカラ、出来ルダケ苦シイ所モ一ツ我慢シテ戴キタイト云フノガ一ツ、其ノ次ニハ各方面ニ於テ非常ニ人モ足リナイ時デゴザイマスルカラ、勵ケル限リノ人ハ働イテ、ソチヲ方デ收入ヲ得テ貰ヒタイト云フ、趣旨デゴザイマス、ソレカラ下級少額受給者ノ問題トシテ、最モ茲ニ考ヘナケレバナラヌ問題ハ戰死者ノ遺族扶助料ノ問題デアリマス、之ニ付キマシテモ色々検討ヲシタノデゴザイマスルガ、先年モ相當程度ノ増額モ致シタコトデゴザイマスルシ、本年ハマア從來ノ額デ我慢シテ置イテ戴カウ、唯政府ト致シマシテハ、別ニ軍事扶助ノ方ヲ相當強化致シマシテ、遺族扶助料ヲ貰ツテ居ル者デモ、生活ニ困ツテ居ル者ニハ軍事扶助ノ方デ相當金ヲ支出致シマシテ、困ラヌヤウニシタイ、斯ウ云ウ風ナコトニナツテ居ルノデゴザイマス、サウ云ウ風ナ事情デゴザイマシテ、勵クコトモ出来ナイト云フ風ナ人々ニ取リマシテハ、色々困難ナ事情モアルカト考ヘマスルガ、今申上デマシタヤウナ方針デ進ンデ行キタイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

○下條康慶君 軍人遺家族等ノ取扱ニ

付テ、色々先年來御配慮ニナリ結構ダ
ト思ツテ居リマス、軍事扶助ノ方面ニ
於テモ手厚イ手當アリマシテ、相當
ナ程度ニナツテ居ルコト思フノデア
リマスガ、今御答ノ中ニアリマシタ
ガ、働ケル人ハ成ルベク働クヤウニ國
民皆働ノ精神、是ハ誠ニ御尤モノコト
デ、サウナケレバナラヌノデアリマス
ルガ、只今御話ノソレカラ又成ル
ナイ人モアリマスシ、ソレカラ又成ル
ベク戰時中ダカラ消費節約ヲシテ我慢
セイト云フコトハ、是ハマア國民トシ
テ左様ニ心掛ケナケレバナラナイ所デ
アルト思フノデアリマスガ、非常ニ低
額ナ恩給受領者デ、而モ働ク力ガナ
イ、年齡ニ於テモ或ハ其他ノコトデ、
殊ニ扶助料ノ受給者ニ付テハ相當アル
ヤウニ思フノデスガ、一方物價ハ逐次
増大シテ來マシテ、配給ダケデ到底最
底限ノ生活モ出來ナイ今日、其ノ物價
高ニ禍ヒサレテ生活ニ苦痛ノアルト云
フコトハ、是ハ一般ニ周知ノ事實デア
リマシテ、此ノ現状ヲ無視シテ置クト
云フコトハ是ハ適當デナイト思ヒマス
シ、政府ハ低物價政策ト云ツテ居リナ
ガラ、同時ニ必要ナ範圍ニ於テハ適正
ナル價格ノ修正ヲシテ居ルノデ、所得
ニ付テモ適正ナル修正ガセラレテ宜イ
ノデハナイカ、一方ニハ所謂新興所得
階層ト云フモノガアツテ、多額ノ所得
ヲ得ル者ハ相當制限スル必要ガアリマ
スガ、他面ニ於テ餘リニ少イ所得者ニ
對シテハ、政府ノ關與スル限リニ於テ
ハ適當ナル處斷ヲスルト云フコトハ必
要デアルト思フノデアリマス、此ノ點
ニ付キマシテハドウゾ十分當局ニ於テ
研究シテ戴キタイト存ジマス、此ノ儘
放置スルト云フコトハ誠ニ憂フベキ狀
態ヲ招來スル一因ニナルヤウニ思フノ

デアリマス、此ノ點當局ニ希望シテ置
キマス、ソレカラ次ニ御伺ヒシタイノ
ハ、先程御配付ニナツタ恩給金額ヲ見
マシテモ非常ナ金額ニ上ルノデアリマ
ス、五億圓以上ニ上ルノデアリマス、
此ノ表ニ依ツテ見マシテモ明カナヤウ
ニ、此ノ戰爭ノ結果ニ因リマシテ金額
ガ著シク増大スルト云フ風ニ思フノデ
アリマス、今後モ何年續クカ分リマセ
ヌカラ、又其ノ先逐次相當ナ増加ヲ見
ルコトダト思ヒマスガ、此ノ恩給ノ増
加ニ對シテ、今別ニ不安ヲ懷ク譯デナ
イノデアリマスルガ、兎ニ角斯様ナ恒
久ノ支出ハ無論公債支辨ト云フ譯デハ
ナイ、何カ斯ウ云フモノガ特段ノ歳入
デ以テ支拂ツテ行クヤウナ恩給支辨ノ
財源ヲ考ヘルト云フヤウナコトヲ考慮
シテ貰ヘルカ、斯ウ云フ問題デス
○政府委員(三浦一雄君) 今下條サン
ノ増嵩シマス恩給額ニ對處シマシテ、
特ニ財源等ニ付テドウカ、マダ財政當
局ト十分ニ具體的ニ打合せシテ居リ
マセヌノデスガ、政府ノ基本的ナ考ト
致シマシテハ、此ノ曠古ノ大東亞戰爭
ヲ完遂シテ居ルノデアリマシテ、固ヨ
リ御承知ノ通り大東亞ノ建設ト云フコ
トガ同時ニ又大キナ意味ヲ持ツテ居
ル、御承知ノ通り大東亞共榮圈ニ於キ
マスル資源ノ開發、更ニ又例ノ五大原
則ニ基キマス相互互惠ノ原則ニ依ツ
テ、是等ノ産業ヲ開發スルト云フ大キ
ナ使命ヲ我々が持ツテ居ル譯デアリマ
ス、デゴザイマスカラ此ノ大東亞戰爭
ヲ勝拔キ、而シテ其ノ建設ニ進ミ得ル
ト云フ大キナ見地カラ見マスルト、將
來ノ我が國ノ財政經濟、産業ノ發展ト
云フコトハ期シテ待ツベキダト考ヘル
ノデアリマス、從ヒマシテ現在トシマ
シテハ我々ハ苦シメ居リマスルケレ

ドモ、雖テハ此ノ線ニ沿ウテ優ニ此ノ
戰爭中ニ拂ツタ所ノ犧牲ハ我々又國民
ノ力デ以テ十分ニ回復シテ行キ得ル、
斯ウ云フ氣構ヘヲ以テ進マナケレバナ
ラヌト實ハ心得テ居リマス、唯財政經
濟ノ見地カラ具體的ニドウ云フ風ニ財
源ヲ配慮シテ行クコト云フコトニナリ
マスルト、下條サンカラ御話ガアリマ
シタ通り誠ニ御尤モデアリマス、是等
ハ篤ト考ヘナケレバナラヌコト思フ
ノデゴザイマスレドモ、只今ノ處、
具體的ニドウ云フ方法デ處理スルカト
云フコトハマダ此處デ申上ガ兼ネル實
情デゴザイマス、其ノ點御了承ヲ願ヒ
タイト思ヒマス
○下條康實君 實ハ私恩給局長在職中
ニ此ノ問題ヲ考ヘタコトガアル、ト云
フノハ年々恩給ガ増加シテ來テ、而モ
是ハ恒久財源ヲ要スルノデアリマス、之
ヲ何トカ、例ヘバ政府ノ官業ニ依リ生
ズル益金ト云フヤウナモノデ以テ支拂
ツテ行クト樂々ヤツテ行ケル譯デアリ
マス、サウ云フヤウナ支出ガ好マシイ
コトデアルト云フ風ナ希望ノ下ニ研究
シタコトガアル、實ハ結論ニ到達シナ
イ裡ニ其ノ儘ニナツテ居ルノデアリマ
ス、今御話ノ通り、大東亞共榮圈ノ建
設ガ完全ニ樹立セラレテ、南方資源ガ
我が國ノ絕對利用ノ目的ニ供セラレ
ト云フヤウナコトニナリマシタナラ
バ、或ハ私ガ多年考ヘタヤウナコトガ
其ノ機會ニ今御話ニモアリマシタガ、
實行出來ルノデナイカトモ思ツテ居リ
マスノデ、此ノ點ハ政府ニ於テ問題ト
シテ研究シテ置イテ戴キタイト思ヒマ
ス、次ニモウ一點伺ヒタイノデスガ、
此ノ條文ニ入ツテ聽イシテ宜シウゴザ
イマスカ
○委員長(黑崎定三君) 御答ヘシマス、

御質疑ハ各條デモ一般デモ、ドウゾ御
自由ニシテ戴キタイト思ヒマス
○下條康實君 伺ヒタイノハ、三十三
條ノ二ノ規定ナンデアリマス、是ハ此
ノ三十三條ガ戰務加算、三十三條ガ交
戰擾亂ノ加算、三十四條ガ戒嚴加算、
三十五條ガ外國鎮戍加算デ、三十二條
カラ三十五條ニ互ツテ此ノ種ノ加算ガ
列記サレテ居ルノデアリマス、續イテ
關係條文ヲ見タノデアリマスガ、今回
三十三條ニ二ヲ追加シテ、交戰ノ狀態
ガ内地ニ發生シタ場合ニ於テ一月ニ付
二月以內ヲ加算シヨウト云フ案ノヤウ
デアリマス、ソコデ其ノ第三十四條ノ
規定ト較ベテ見マス、第三十三條ハ
外國ノ交戰擾亂ノ場合ニ一月ニ付二月
ヲ加算スル、三十四條モ同ジニ戒嚴地
加算ハ一月ニ付二月ヲ加算スル、但シ
三十四條ノ第二項ニ戒嚴ノ事實ガ内地
デアル場合ニハ加算年ガ二分ノ一ニナ
ルヤウニナツテ居リマス、尤モ三十三
條ノ二ノ改正案ノ追加サレル案ニモ二
月以內トアリマシテ、必ズシモ二月ト
ハ決ツテ居ナイノデアリマス、先程御
説明ニ依リマス、主トシテ是ハ南洋
群島ダト云フコトデアリマシテ、而モ
其ノ加算ノ程度ハ二月以內或ハ二ノ程
度ニナルカマダ決ツテ居ナイト云フ御
趣旨ト思ヒマシタガ、二月以內ガ少シ
高過ギルノデナイカ、三十四條ノ第二
項トノ約合カラ見マス、或ハ加算
ハ二分ノ一、詰リ三十三條ニ對シテ二
分ノ一程度デ宜イノデナイカト云フヤ
ウナ考ヘ方モサレルノデアリマス、サ
ウ申シマス理由ハ、三十四條ノ規定ニ
付テモサウデアルト思ヒマスガ、詰リ
内地デアル場合ニハ公務員ガ大體自國
内ニ居ル譯デアリマシテ、サウ云フ場
合ニ付キマシテハ其ノ加算ノ程度ヲ低

クスルト云フノガ一般ノコトデアルト
思ヒマスノデ、此ノ點ニ付キマシテモ二
月以內デアルノヲモウ少シ減額シテ、
三十四條ノ第二項程度ニスベキモノデ
ナイカ、斯ウ云フ風ニ考ヘルノデス、
此ノ點ヲ伺ヒタイノデス
○政府委員(平本弘君) 其ノ問題ハ
色々研究シテミタノデゴザイマスルガ、
成程今迄ノ規定ハ外國ト内地ノ場合デ
ハ、只今仰セニナリマシタヤウナ趣旨
デ、現在ノ規定ガ出來テ居ルノデゴザ
イマス、處ガ、此ノ頃ノ戰爭以來ノ實
情ヲ見マスルト、外國ノ擾亂ヨリモ却
テ内地ノ交戰ノ方ガ危險モ多イ、苛烈
ナ狀況下ニ在ル場合ガ非常ニ多イヤウ
ニ實ハ考ヘルノデゴザイマス、例ヘバ
今迄ノ例カラ申シマス、エチオピ
アノ戰爭ナンカ、外國ノ擾亂ノ加算ヲ
付ケタノデゴザイマスルガ、又、云フ
モノニ較ベマシテ、今度ノ南洋群島ノ
問題等ヲ考ヘマス、此ノ處ニ於キマ
シテハ皆ガ玉碎スルト云フ風ナ狀況ニ
在リマス、サウ云フ點ヲ考ヘマスル
ト、必ズシモ國內デアルカラ外國ヨリ
モ程度ガ輕イト云フコトバカリモ實ハ
考ヘラヌヤウナ狀況デゴザイマスル
ノデ、其ノ最高ダケハ必ズ二箇月ニシ
テ宜イノデハナカラウカ、運用ニ依ツ
テ二箇月以內一箇月ト云フコトモ勿論
考ヘラレマスシ、事情ニ依ツテサウ云
フ風ナコトガ考ヘラレマスルノデ、實
際ニ於キマシテハ運用ニ於テモサウ云
フ不均衡ノ生ズルコトハナイダラウト
考ヘマス
○下條康實君 戰爭ノ實體ハ、外國ニ
於テスル場合ト内地ニ於テスル場合
ト、ドツチガドウカト云フコトハ判斷
ガ出來マセヌケレドモ、併シナガラ其
ノ人ガ自國ニ在ル場合ハ、外國ノ場合

ヨリモ心持ガ氣易イ立場ニ在ルコトハ事實ダト思ヒマス、ソレカラモウツハ斯ウ云フ點モ考ヘナケレバナラヌ、公務員ガ内國ニ在ル場合ト外國ニ在ル場合ト比較シテ、内國ニ在ル場合モ特ニ公務員以外ノ者モ相當危險ニ暴サレテ居リ、相當程度ニ於テ公務員ノ行動ニ參畫シテ之ヲ援助シテ居ルノデアリマスガ、公務員ガ相當ナ恩典ヲ受ケルト云フコトハ、其ノ點ハ餘程考ヘナケレバナラヌノデアリマス、成ルベク低クシテ置ク方ガ適當デアルト云フ風ニモ思フノデアリマスガ、サウ云フ内國ニ於ケル公務員以外ノ者トノ均衡ハドウ云フ風ニ考ヘテ居ラレマスカ

○政府委員(平木弘吉) 只今御尋ニナリマシタ後ノ方ノ問題、詰リ内地ノ他ノ公務員トノ關係ト云フヤウナ問題ニ付テ、慎重ニ其ノ均衡モ考ヘナケレバイカヌト云フ御意見デゴザイマスガ、全ク其ノ通りデゴザイマシテ、サウ云フ點カラ考ヘマシテ、ドウ云フ地域ニ付ケルカト云フコトハ、是ハ最モ嚴重ニ考ヘナケレバイカヌ問題ダラウト考ヘマス、ソレニ付キマシテハ、未ダ正式ニ決定ハシテ居リマセヌガ、政府ノ方デハ前ニ申上ゲマシタヤウナ方針デ進ミ、現狀ニ於テ内地ニ於テハ此ノ規定ハ付ケナイ、斯ウ云フ風ニ政府ノ方針ガアルヤウニ實ハ伺ツテ居ルノデゴザイマス、其ノ點ニ於テマシテハ、其ノ運用ニ於テマシテ今後十分注意シナケレバナラヌ問題ト考ヘテ居リマス

○長谷川越夫君 チヨット伺ヒマス、極ク簡單ナ事ヲ伺ヒタイノデスガ、此ノ日本ノ恩給法デハ、戰時加算ノ場合、最高一月ニ付テ三月以内ト云フコトニナツテ居リマスガ、先刻前世界大戰ノ際ニ於ケル「ドイツ」ノ御話ガアリマシタガ、最近歐米各國戰時加算ノ場合ニドレ位ノ割合ニナツテ居リマスカ、御分リノアリマシタ所ヲ御知ラセ願ヒタイ、第二點ハ恩給ノ停止ノ件デアリマスガ、日本ノ恩給法ニ依リマスト、恩給ヲ貰フ資格ノ人デモ、一定ノ年齡、例ヘバ四十歳未滿ノ者ニハ其ノ年齡ニ應ジテ一部停止シテ居ル規定ガアリマス、ソレカラ又四千圓以上ノ恩給以外ノ所得ノアル者ニ付キマシテ恩給額ノ一部ヲ停止シ、最高三割迄停止スルト云フコトニナツテ居ルヤウデゴザイマスガ、斯ウ云フヤウナコトニ付キマシテ外國デハドンナニナツテ居リマセウカ、若シ御分リデシタラ御説明願ヒタイト思ヒマス

○政府委員(平木弘吉) 實ハサウ云フ外國ノ制度モ色々知リタイト思ツテ心掛ケテハ居リマスノデゴザイマスガ、只今ノ處、外國ノ方ハドウ云フ風ニナツテ居ルカ、事情ガサツパリ分ラヌヤウナ狀況デゴザイマス、唯先程モ申上ゲマシタ「ドイツ」ノ事ニ付キマシテハ、先程申上ゲタ通りデゴザイマス、ソレカラ恩給ノ停止ノ問題モ、先程申上ゲタ通りニ、「ドイツ」ト致シマシテハ、退職軍人其ノ他ノ官吏ヲ努メテ官廳ニ於テ使ヒ、民間ニ行ク場合ハ非常ニ少イ、從ツテ恩給停止ト云フコトニ該當スル者ガ少イ爲ニ、サウ云フ制度ハ「ドイツ」ニ於テハナイト斯ウ云フコトデゴザイマス

○長谷川越夫君 恩給停止ノ問題ハ、要スルニ二年々恩給額ガ殖エマスノデ、其ノ爲ニ考ヘラレルコトヲ推測スルノデスガ、兎ニ角戰時其ノ他ノ理由ニ依ツテ恩給年限ヲ加算シナケレバナラヌト云フ原則ノ下ニ、假令其ノ人が幾ラ若クテモ、恩給ヲ受ケル資格ニナリマシタ場合ニ、ソレヲ止メルト云フコトハ、ドウモ徹底ヲ缺クノデヤナイカト云フヤウナ氣ガ致スノデアリマス、ソレカラ高額所得者ニ對シテ一部停止スルト云フコトモ、是ハ確カ色々沿革モ從來アツタヤウニ伺ツテ居ルノデゴザイマスガ、併シ是モ矢張り恩給増額ヲ何トカシテ防ガウト云フ一ツノ方法トシテ考ヘラレタ以上ハ、モウ少シ徹底的ニヤラレタナラバドウ云フモノカ、例ヘバ一定ノ高額所得者ニ對シテハ全部停止シテシマフト云フヤウナ所迄行カヌト、是ハ徹底シナイト思ヒマス、此ノ二ツノ點ニ付キマシテ、將來何トカシヨウト云フヤウナ御考ハアリマセヌデセウカ

○政府委員(三浦一雄君) 只今長谷川君ノ御意見デゴザイマスガ、是ハモウ只今御指摘ニナリマシタ通り、恩給ノ停止等ニ付キマシテハ世上非常ニ論議ノアツタ所デゴザイマシテ、只今ノ現行法ニナリマスニ付キマシテモ非常ナ沿革ノアリマスコトハ御承知ノ通りデアリマス、ソレデ實ハ恩給ノ本質ニ瓦ルコトデゴザイマスガ、御承知ノ通りデ今更管々シク申上ゲルノモ恐縮ダト思フノデゴザイマスガ、恩給ハ矢張り國家ノ恩典デゴザイマスカラ、此ノ本義ヲ矢張り崩サナイト云フコトガ非常ニ大切ダラウト思フノデアリマス、ソレデ高給所得者ニ對スル停止等ノ問題ニ付キマシテモ、唯非常ニ澤山取ツテ居ル者ニ恩給ヲヤルト云フ、其ノコトガ何ト云ヒマスカ、社會ノ通念ト云ヒマスガ、一ツノ正義觀カラ不當ダト云フ風ナ意見モアツタリシテ、旁、此ノ恩給ノ本質ヲ害セズ、同時ニ又サウ云フヤウナ不當ニ何カ受ケテ居ルト云フヤウナコトヲ制限スルト云フ調

和點ヲ此處ニ求メタモノダラウト思ヒマス、只今ノ處、現行ノ制度ノ通りニシテ行クノガ、先ヅ從來ノ沿革カラ考ヘマシテモ妥當デハナイカ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ル譯デゴザイマスルカラ、御意見ノ點ハ十分了解サレノデゴザイマスルケレドモ、只今ノ處、政府デハ左様ニ考ヘテ居リマス

○長谷川越夫君 ソレカラモウツ、若イ人ニ對スル停止ハドウデセウカ、四十歳未滿ノ人ノ一部停止ニ付テハ……、私ハ是ハ不徹底デアルト思フノデアリマスガ、是ハ矢張り停止シナイデ、少クモ此ノ方ハヤル方ガ宜イノデヤナイカト思ヒマスガ……

○政府委員(三浦一雄君) 此ノ點ハ高給所得者ニ對スル停止ト反對ナ意味デ出來テ居ルノデゴザイマス、即チ若イ人中ハ働カセヨウ、斯ウ云フコトニナツテ居ツテ、實ハアチララ立テレバコチラガ立タズト云フコトガ此ノ面ニ出テ居ル譯デアリマス、若イ者ニ働ケ、サウシテ恩給ノ方ハ國家ノ恩典デゴザイマスルカラ、從ヒマシテ片方ヲ徹底サセルト、若イ者、殊ニ戰時ニ應召、出征致シマシタ方々ハ、若クテモ實ハ恩給ノ恩典ニ與カリ得ル譯デス、是等ハ矢張り現行ノ調和點ハ先ヅ妥當ナコトデヤナイカト考ヘマスカラ、矢張り此ノ制度デ參リタイト考ヘテ居リマス

○長谷川越夫君 サウスルト、結局日本ノ恩給法ノ戰時加算一月ニ付三月ト云フコトガ餘リ多過ぎル、其ノ結果、非常ニ若クテ働ケル年齢ノ者デ恩給ヲ受ケルガ澤山出來ル、斯ウ云フ結果ニナルノデヤナイカト推測サレ、先程私ガ外國ノ例ヲ伺ヒタイト思ヒマシタノハ、外國ハ一體ドウ云フ風ニナツテ居ルカ、ソレニ關聯シテ、第五十八條

第一項第三號ノ停止ト云フモノモドウ云フ風ニナツテ居ルカト云フコトヲ實ハ伺ヒタカツタノデアリマス、ソレデ戰時加算ノ一月ニ付三月ト云フノヲ押通スナラバ、第五十八條第一項第三號ノ停止ト云フモノハ不徹底デヤナイカト思フノデスガ……

○政府委員(三浦一雄君) 戰時加算ニ付キマシテ手厚イ保護ヲスルト云フコトハ、矢張り戰爭ニ出タ際ニハ後顧ノ憂ナシニ敢闘精神ヲ發揮シテ貰ヒタイト云フ所ガ狙ヒ所ダラウト思ヒマス、ソレデ一月ニ付三月ト云フ制度ガ創設サレタモノト思フノデス、今度、其ノ結果手厚イ恩典ヲ受ケルコトニナルト云フ時ニ、ドノ程度調整スルカ、是ハ詰リ年齡ニ依ツテ一時停止ト云フコトニナルカト思フノデス、固ヨリ其ノ年齡ヲ過ギマスト當然支給サレルコトニナルノデスガ、ソレガ詰リ一ツノ調和點、斯ウ云フコトニナルノデゴザイマスカラ、不徹底ト云ハレハ一種ノ不徹底ニナルノデスガ、片方ノ一月ニ三月ヲ付ケルト云フコトハ、是ハ又非常ニ大キイ狙ヒ所デゴザイマスカラ、其ノ縮メ括リ的調和點ヲ求メテ居ルト云フコトデゴザイマスカラ、矢張り此ノ程度ガ一番妥當ナ所デヤナイカト考ヘテ居リマス

○長谷川越夫君 私ハ是デ濟ミマシタ付テ條文ニ即シテ幾ツカノ疑問ヲ感ジテ居リマスノデ、逐條的ニ伺ヒタイト思ヒマス、第十八條第一項中「又ハ神宮皇學館」ヲ創ルト云フノデアリマスガ、是ハ神宮皇學館ナルモノガ廢止セラレテ、其ノ官制ガ廢止セラレタト云フコトニ付ベキモノト思ヒマスガ、果シテサウナツテ居ルノデアリマス

カ、或ハハモウ既ニ廢止セラレテシ
マツテ、今回ノ法律ノ改正ハ單ナル字
句ノ整理ニ過ギナイモノナデアリマ
スカ

○政府委員(平木弘君) 只今ノ問題

ハ、昨年ノ四月ニ廢止ニナツテ居リマ
シテ、ソレニ伴フ整理デゴザイマス

○村上泰一君 次ハ第三十三條ノ二ノ
新シイ條文ニ付デアリマス、此ノ條文

ニ付テハ先程下條委員カラモ御質問ガ
アツタノデアリマスガ、私モ其ノ點ニ付

テ伺ヒタイと思ヒマス、先ツ此ノ條ニ
於キマシテハ内國ノ場合ニ限ツテアリ

マスガ、内國ニ對スルモノハ外國ダト
思ヒマス、一應ハ……、其ノ外國ノ場

合ノ規定ハ前條ノ第三十三條ニアルト
思ヒマス、此ノ内國ト言ヒ、又外國ト

言ヒマスガ、是ハ必ズシモ陸上ダケデ
ハナイ、空中又ハ海上……即チ陸上、

領空内、領水内、斯ウ云フコトニ解釋
シテ宜イノデセウカ

○政府委員(平木弘君) 只今ノ問題
ハ、日本ノ領土並ニ領土上ノ上空ト申

シマスガ、海デ申シマスレバ領海内、
斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

タノハ職務加算ノ事ヲ例ニ引イテ申
上ゲタノデゴザイマスガ、例ヘバ太

平洋ニ勤務スル場合ニ、例ヘバ船員ナ

ンカニサウ云フ問題ガアラウカト考ヘ
マスガ、第三十三條ノ二ニ依ルカ、第

三十三條ニ依ルカト云フ問題ニナリマ
ス、或ハ稀ナ場合ニハ第三十二條ノ適

用ト云フコトモナイトハ限リマセヌ
ガ、是ハ極メテ少イモノト考ヘマス

ト、此ノ點ハ第三十三條ノ二ヲ適用ス
ル譯ニ行キマセヌカラ、第三十三條ヲ

適用シナケレバナラヌト思ヒマス
○村上泰一君 サウ致シマス、公海

ハ矢張り外國ノ中ニ含ムト云フコトニ
ナルノデスカ

○政府委員(平木弘君) サウ云フ風ニ
取扱ツテ居リマス

○村上泰一君 同ジク第三十三條ニ所
謂ノ危險ヲ顧ミ……ト云フ文字ガ用ヒラ

レテ居リマス、是ハ前條ニモ、ソレカ
ラ次ノ第三十四條ニモアリマスガ、

新シイ文字デハアリマセヌガ、果シ
テ是デ適當デアリマセウカ、ト言ヒマ

スノハ、忠實ナル公務員ガ危險ヲ顧ミ
テ、危險ヲ慮ツテ其ノ職務ヲ怠ルト云

フヤウナコトハアル筈ハナシ、又左様
ナ事實ヲ豫想スベキデハナイと思ヒマ

ス、ト致シマスレバ、危險ヲ顧ミズト
カ、又其ノ反對ノ顧ミルトカト云フ各

人ノ主觀ノ意思ニ掛ケズニ、客觀的ニ
生命ノ危險ノアル場所デアリ、又其

ノ危險ノナイ場所デアリ、斯ウ云フ區
別ヲ立テルベキモノデアラウト私ハ思

ヒマス、就キマシテ、文字ニハ「危險
ヲ顧ミ」トアリマスガ、其ノ趣意ハ

危險ノアル場所ニト云フコトニ解釋シ
テ宜シイノデアリマセウカ

○政府委員(佐藤基君) 「危險ヲ顧ミ
ス」ト云フ點ニ付キマシテノ只今ノ御

質問御尤モノヤウニ思ヒマス、但シ其
ノ地域ノ結局決メ方ニモ依ルト思ヒマ

スケレドモ、地域ノ決メ方ト云フモノ
ハ、最モ危險ノ區域ダケヲウマク「ビ

ツクアツツ」シテ決メラレ、バ大體問
題ガナイと思ヒマススケレドモ、必ズシ

モサウモ決メラレナイ、サウスルト地
域ヲ決メテモ、其ノ中デ嚴格ニ言フト

非常ニ危險ノ場所ト、然ラザル場合モ
アリ得ル、サウ云フ意味デ危險ヲ顧ミ

ズト云フコトガ出來テ來ル、サウ云フ
風ニ考ヘテ居リマス

○村上泰一君 ソレ故ニ私ノ申シマシ
タ通り、客觀的ニ危險ノアル場所ト云

フ意味デアアルノデヤナイデスカ
○政府委員(佐藤基君) 大體ニ於キマ

シテ、運用ト致シマシテハサウ云フコ
トニナラウカト思ヒマス

○村上泰一君 諄ク申上ゲルヤウデス
ガ、大體ニ於テトカ、運用ニ於テトカ

ト云フサウ云フ「カモフラージュ」ノ言
葉デナクハツキリシテ戴キタイ、是ハ

公務員ノ身上ニ關スル問題デアリマ
ス、公務員ノ中ニ危險ヲ顧ミテ其ノ職

務ヲ抛ツ者ガアルダラウカト云フコト
ヲ考ヘマスノハ、全國公務員ニ對スル

侮辱ダト思ヒマス、從來法文ニ斯ウ云
フ文字ガ使ツタルガ、ソレハサウデ

ハナイ、私ノヤウナ神經的ノ考ヲ以テ
スレバ言葉ハ寧ろ適當デナイ、眞意ハ

危險ノアル場所ニ於テ勤務シタ者ニハ
此ノ加算ヲ與ヘル、斯ウ云フ所ニアル

ト云フコトヲ當局ノ方カラ私ハ明言シ
テ戴キタイと思ヒマス

○政府委員(平木弘君) 只今仰セニナ
ツタ通りデゴザイマス

○村上泰一君 丁承致シマシタ、續イ
テ同ジク此ノ條ニ於キマシテ「二月以

内ヲ加算ス」トアリマス、「以內」ト云
フコトデアリマス、是ハ此ノ條項ニハ

限リマセヌ、外ノ條項ニモアリマスガ、
コ、デ私ハ只今嫌ヒマシタ大體ト云フ

言葉ヲ自ラ用ヒマスガ、恩給法規ニ於
キマシテハ大體ニ於テ斯様ナ「以內」ト

云フ觀念ハ避ケルガ宜イデヤナイカ、
恩給法規ニ於キマシテハ、各人ガ何程

ノ權利ヲ持ツカト云フ所ヲ明確ニシ
テ、恩給裁定ノ官廳ハ單ニ其ノ規定ヲ

解釋シテ、適用シテ、法規ニ定メタル所
ヲ確認スルト云フノガ、恩給法規適用

ノ大體ノ建前デナケレバナラヌ管ダト
思ヒマス、言換ヘマスレバ恩給裁定官

廳ガ恩給ノ原理ニ關シテ、或者ニハ一ヲ
與ヘ、或者ニハ二ヲ與ヘルト云フ認定

ナリ裁量ナリ、其ノ餘地ヲ存シナイ、
恩給裁定ノ處分ハ行政法ニ依ル所ノ確

認デアリ、新タニ權利ヲ賦與スルモノ
デハナイト云フノガ、恩給法規ノ大體

ノ建前デナケレバナラヌト思ヒマス、
他ノ場合ニモアルコトデアリマセウカ

ラ、此ノ場合ノミヲ實メ爾譯ニモ行キ
マセヌガ、其ノ點ニ付テモ當局者ハド

ウ云フ御考デアリマセウカ、成ルベク
「以內」ト云フ觀念ハ避ケル御趣意デア

リマスルカ、而シテ此ノ場合ニハドウ
シテモ「以內」ト云フ規定ニシナケレバ

ナラヌノデアリマセウカ、其ノ點ニ付
キマシテノ御教示ヲ仰ギタイと思ヒマ

ス
○政府委員(平木弘君) 此ノ問題ハ成

ル程受給者ノ方カラ申シマスレバ「以
內」トカ云フ言葉デナシニ、一箇月ト

カ、二箇月ト云フ風ニハツキリシテ居
ル方ガ明瞭ニナツテ結構ナコトダラウ

ト思ヒマスガ、實際之ヲアル方カラ考
ヘマスルト、色々ナ場合ガアリマシテ、

事情ニ依リマシテ伸縮性ガアリマス方
ガ、實際適用シマス場合ニ實狀ニ適ス

ル場合ガ多イヤウニ考ヘマス、サウ云
フ點カラ考ヘマシテ、例ヘバ第三十二條

ノ職務加算モ同ジデゴザイマスガ、戰

闘ノ狀況ニ依ツテ一箇月ヲ附ケ、或ハ

二箇月ヲ附ケ、三箇月ヲ附ケルト云フ

風ニ、現在ニツニ分ケテ居ルノデゴザイ

マスルガ、ソレト同ジ趣旨ニ依リマシ

テ、現在南方ノ遠隔ノ離島其ノ他ニ付

キマシテハ、此ノ第三十三條ノ二ガ適用

ニナルト思ヒマスガ、其ノ地方ノ狀況

ガ相當違ヒマスルカラ、斯ウ云フ風ナ規

定デ伸縮性ヲ持ツタ方ガ實狀ニ合ハ

セルヤウニ餘リ細カニ致シマス、所謂

事務的ニモ非常ニ困ル問題ガ起リマシ

ノデアリマス、詰り戦争ニ從事シテ居ル人間デ、地域ハ何處其處、期間ハ何時カラ、此ノ三ツヲ勘裁ヲ仰イデ居ルノデアツテ個人々々ノ詮議ヲ勘裁ニ仰イデ居ルノデハゴザイマセヌ

○村上泰一君 果シテ然リトシマシレバ、ソレハ一ツノ規定デアリ、一般ニ適用セラレル規定デアリマス、ソレナラバ直チニ勅令ヲ以テ定メラレテ一向差支ナイノデハナカラウカ、勿論事情ノ變更ニ依ツテ其ノ規定ヲ改正サレルゴトハアリマセウガ、ソレハ勅令ノ改正デアリマス

○説明員(平塚三君) 勅裁ヲ以テヤリマスノハ、此ノ期間ナリ地域ナリガ客觀的ニ必ズシテ明瞭デアリマセヌカラ、ソレデ勘裁デ以テ認定處分トシテヤル……

○村上泰一君 チョット只今ノ御説明ハ分リ兼ねマシタガ、勅裁ヲ經テ定マル所ハ規定ナノデスカ、處分ナノデスカ

○説明員(平塚三君) 處分デアリマス

○村上泰一君 トシマシレバ、個々ノ公務員ニ付テノ處分デナケレバナリマセヌ、從ツテ豫テ用意シテ置カレル準則デヤナイノデスカ、トシマシレバ、先刻ノ政府委員ノ御説明トハ少シ違フヤウニ思ヒマスガ……

○政府委員(三浦一雄君) 只今村上委員ヨリ御質疑ガアリマシタガ、三十三條ノ二ヲ新規ニ入レマシタノデスカ、是ハモウ恩給法ニ付キマシテハ永イ間ノ慣例ト申シマスガ、斯ウ云フ用例ヲ採リマシテ、同時ニ扱ヒラシテ居ルノデアリマス、此ノ三十三條ノ二ノ場合モ此ノ取扱ヲ願フノガ最モ此ノ規定運用ニハ適當デアルト考ヘマシテ、之ヲ採用シタ譯デアリマスカラ、色々ノ性質

上ノ事ニ付キマシテノ御考ハアルト思ヒマスガ、其ノ點ヲ特ニ一ツ御了承ヲ願ヒタイト思ヒマス

○村上泰一君 此ノ條ニ付キマシテハ一應ソレデ終リマスガ、尙私外ノ條ニ付テモ質問ガゴザイマスガ、マダ少シ時間ガ掛ルヤウニ思ヒマスガ、如何デスカ、午前ノ分ハ此ノ邊デ一應御終了ニナリマスガ

○委員長(黒崎定三君) 速記ヲ止メテ……

〔速記中止〕

○委員長(黒崎定三君) 速記ヲ始メテ、ソレデハ暫時休憩ヲ致シマシテ、午後一時半カラ再開致シタイト思ヒマス、休憩致シマス

午前十一時五十分休憩

午後一時四十二分開會

○委員長(黒崎定三君) 午前ニ引續キマシテ是ヨリ開會致シマス、御質疑ヲ續ケテ戴キマス

○村上泰一君 次ハ恩給法中改正法律案ノ第四十六條ノ二デゴザイマス、本條第一項ノ前段ニ於キマシテ、今同ノ改正ニ依ツテ「之ヲ爲其ノ職ニ堪ヘシテ一年内ニ」ト云フ字句ヲ削ルコトデゴザイマス、一年内ニ退職シタ時ハ其ノ退職ノ期日ヲ一年内ニ數ヘナイト云フ御改正ハ分リマス、「之ヲ爲其ノ職ニ堪ヘシテ」ト云フコトモ削除シテオシマヒニナツテ宜シノデアリマス

カ、私が一應考ヘマシタ所デハ、「公務員公務ノ爲永続性ヲ有スル傷病ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リ不具發疾ノ程度ニ至ラサルモ勅令ノ定ムル程度ニ達シ失格原因ナクシテ退職シタルトキハ」ハ、矢張り「之ヲ爲其ノ職ニ堪ヘシテ退職シタルトキハ」斯ウ云フコトデ宜ササ

ウニ思ハレマス、「之ヲ爲其ノ職ニ堪ヘシテ」ト云フ制限ヲ撤廢スル理由ヲ承リタイノデアリマス

○政府委員(平木弘君) 是ハ從來傷病年金ヲ受ケル程度ノ傷病ニ罹ツテ居リマス者ハ、從來退職セシメテ居ツタ者デゴザイマス、處ガ最近ガ非常ニ澤山要リマス關係上、斯ウ云フ人モ辭メサセナイデ使ツテ行カケレバナラヌト云フ狀況ニナリマシタ爲ニ、此ノ規定ヲ削除スルコトニ致シタノデアリマスガ、是ハ形式上カラ見マスルト、職ニ堪ヘズシテト云フヲ除キマスト、職ニ堪ヘテ居テモヤルト云フコトニナリマシテ、其ノ條件ガ非常ニ緩和サレタヤウニチョット見エルノデアリマスガ、實際ハチツトモ緩和デハナイノデゴザイマス、具體的ニ申シマスルト、傷病年金ヲ受ケル程度ノ傷病ヲ具體的ニ申シマスルト、其ノ中第一第一款ノ重イモノヲ申上ゲマスルト、片一方ノ耳ガ聾ニナツテ、片一方ノ耳ガ聽エヌヤカニナツタノガ傷病年金ノ第一款ニナツテ居リマス、第二款ハ段々輕クナツテ居ル、此ノ片一方ノ耳ガ聾ノ程度デアリマスレバ從來デ申シマスルト退職シテ居ツタノデアリマス、使フ方カラ申シマシテモ適當デアリマセヌシ、本人モ色々苦痛ガアリマスカラ退職サセテ居リマシタガ、現在デアリマスルト斯ウ云フ者モ使ツテ行カケレバナラヌ、本人ガ多少苦痛ガアリマシテモ適當ナ場所ニソレヲ使ツテ行カケレバナラヌ、斯ウ云フ事態ニナツテ居リマス

ソレデ此ノ退職スル場合ノコトヲ考ヘマスルト、サウ云フ人ガ今度退職スル場合ニ、或ハ職ニ堪ヘズシテ退職スル場合モアリマセウガ、サウ云フヤウナ職ニ堪ヘズシテデナクシテ、今迄ハ是ダ

ケノ人間ガ要ツテ居ツタガ、モウ要ラヌト云フ理由デ辭メサセルト云フ場合モ實ハ考ヘラレルノデゴザイマス、サウ云フ關係モゴザイマスルノデ、殊ニ下士官以下ニ付キマシテハ、先年ノ改正此ノ改正ヲヤツタノデアリマスガ、其ノ當時ニ於キマシテハ、將校ニ付テハソレ程ノ必要モアルマイト云フノデ、下士官ダケヤツタノデアリマスガ、今度將校ノ方ニモ其ノ必要ガ認めラレマスルノデ、下士官同様に將校ニ付テモ、此ノ規定ヲ削除シタノデゴザイマス

○村上泰一君 サウシマス、是レガ爲其ノ職ニ堪ヘルト堪ヘザルトヲ區別シナイト云フコトニナルノデゴザイマスガ、此ノ項ノ後段ヲ削除サレマスル、ソレハ前段ト合シテ一本ノ規定ニスルト云フコトデゴザイマスガ、處デ此ノ後段ノ現行規定ニ付キマシテハ、失格原因ナクシテト云フ制限ガ付イテ居リマセヌ、此ノ後段ヲ削除シテ前段ト並行シテ、結果ハ下士官以下ノ軍人ニ付キマシテモ、失格原因ナクシテ退職シタルト斯ウ云フコトニナルヤウニ思ハレマスガ、ソレデ宜シノデスカ……

○政府委員(平木弘君) 左様デゴザイマス

○村上泰一君 サウシマスルト其ノ點ニ於テハ、下士官以下ノ軍人ニ對スル恩給ガムツカシナルト云フコト……

○政府委員(平木弘君) 只今御述ニナリマシタヤウニ、後段ヲ削除致シマスルリマシタヤウニ、現在下士官ニハ失格原因ナクシテト云フ條件ガナカツタノデアリマス、今度新ニ失格原因ト云フ條件ガ形式上ハ入ルノデアリマスガ、從ヒマシテ之ヲ形式的ニ見マスルト、下士官

ニ對スル傷病年金ノ支給條件ガ嚴格ニナツタ、斯ウ云フコトニ一應形式上ハナルノデアリマス、併シハ實際カラ申シマスルト云フコト、陸海軍ノ狀況ヲ色々聽イテ見マスルト云フコト、實質問題トシテ、例ヘバ犯罪トカ懲罰トカ言フ理由ヲ以テマシテ、下士官以下ニ付キマシテハ退職セシムル場合ガナイ、實際サウ云フ事例ガナイト云フコトデアリマシタノデ、實ハ形ノ上デハ如何ニモ下士官ニ付テハ酷クナルヤウデゴザイマスガ、實質上差ガアリマセヌノデ此ノ儘ニシタノデアリマシテ、本當申シマスルト失格原因ナクシテト云フコト下士官以下ニ付キマシテ、兵ヲ除クト云ヘバ一番宜イノデアリマスガ、實質上ハ支障ガナイ爲ニ、簡單ニスル爲ニ此ノ儘ニシタノデアリマス

○村上泰一君 次ハ第五十九條ノ二デアリマスガ、其ノ第一項本文デアリマスガ、其處ニ但書ガ附キマス、「但シ戰鬪ノ爲傷病ヲ受ケ之ヲ爲死亡シタル際ニ階等以上進級シタル軍人ニ付テハ此ノ限ニ在ラス」特例ニ從フニ非ズ、即チ本則ニ從フ、ソレハ退職當時ノ俸給年額ヲ單純ニ其ノ僱採用スル、斯ウ云フコトニナルノデスカ

○政府委員(平木弘君) 左様デゴザイマス

○村上泰一君 是ハ誠ニ結構ナ改正ト思ヒマスルガ、之ヲ軍人ダケニ限ルト云フコトガドウ云フモノデゴザイマセウカ、先ヅ以テ軍人、是ハ恩給法ニ於テハ軍人デハナイト思ヒマスルガ、軍屬モ戰鬪ノ爲傷病ヲ受ケ之ヲ爲死亡シタル場合ニハ軍人ト同様ニ之ヲ取扱ツテ宜イノデハナイカ、モウ一步進メテ考ヘマスレバ直接戰鬪ノ爲デナクシテ公務ノ爲デアリマスルガ、特ニ其ノ事情

ノ吟味ヲスベキモノ、此ノ頃頻繁ニ傳
ヘラレマスガ自然科學ノ學者ガ試驗
室ニ於テ直接戰爭ニ役立ツヤウナ研究
ヲシテ居ツテ、其ノ研究ノ爲科學者ガ
試驗管ヲ握ツテ試驗室ニ殘レタ、大段某
氏、日比野某氏ト云フヤウナ例ガ最近
世上ニ傳ツテ居リマスガ、サウ云フヤ
ウナ場合モ是ト同様ナ取扱ヲシテモ宜
イノデハナイカト云フ感ジヲ持チマス
ガ、斯様ナ直接戰爭ニ關シナイ場合ハ
別トシマシテモ、セメテ軍屬迄ハ此處
ニ加ヘテモ宜イノデハナイカト思ヒマ
スガ……

○政府委員(平木弘君) 只今ノ五十九

條ノ二ノ但書ノ規定ノ中ニ、軍人ト限
ラナイデ軍屬モ其ノ中ニ入レテハドウ
カト云フヤウナコトト、モウ一ツノ問
題ハ戰鬪ノ爲傷殘ヲ受ケト云フ戰鬪行
爲ニ限ラズ學者等ガ實驗其ノ他ノ爲ニ
公務死亡シタ場合モ考ヘタラドウカ
ト云フ御質問ダト思ヒマス、第一ノ點
ノ軍人ニ限ラナイデ軍屬モ之ニ入レタ
ラドウカト云フ問題デゴザイマスガ、
今度此ノ規定ヲ改正致シマシタ對象ト
ナリマスノハ、例ノ必死必中ノ特別攻
撃隊デゴザイマス、特別攻撃隊ハ御承
知ノ通りニアマ能ク必死必中ト申シマ
スルガ、モウ必死必中ト云フコトガ豫メ
豫想サレテアルノデアリマス、其ノ外
公務員デ公務死亡シタ場合モ色々ア
リマスケレドモ、外ノ公務ニ付キマシ
テハ其ノ場合ニ必死必中ト云フコトガ
分ツテ居テアルト云フ場合ハ非常ニ少
カラウト思ヒマス、ソレト差ヲ付ケル
ト云フ意味ニ於キマシテ特ニ軍人ダケ
ニ限ツタ譯デゴザイマス、軍屬ニ付キ
マシテハ、殊ニ戰鬪ノ爲ニサウ云フコト
ヤル者ト云フノハ先ツアルマイ、殊ニ
軍ノ方デ二階等以上進級サセマスノハ、

殊勳ヲ奏スルト云フコトモ一ツノ條
件ナノデアリマシテ、殊勳ヲ奏シマシ
テ必死必中ノ戰ヒヤアルト云フ場合ニ
於テ陸海軍ノ方デハ二階等以上進級サ
セテ居ルノデアリマス、サウ云フコト
ヲ考ヘマシテマア範圍ヲ何處デ切ルカ
ト云フ問題ハムヅカシイ問題デアリマ
スガ、軍屬ニ付キマシテハサウ云フ該
當者モ先ツアルマイ、假リニアルニ致
シマシテモサウ云フ軍人ダケニ限ツタ
ガ宜クハナイカ、斯ウ云フ意味デ斯ウ
云フ風ナ軍人ト云フコトニ致シタノデ
ゴザイマス、ソレカラモウ一ツノ學
者其ノ他ガ研究室デ殘レルト云フ問題
モゴザイマスルガ、此ノ點ニ付キマシ
テ私共モ誠ニ其ノ氣持ノ上ニ於テハ何
トカシテ上ゲタイト云フ氣持、新聞等
デ拜見致シマシテモ實ハ感スルノデゴ
ザイマス、處ガ現在ノ狀況ハドウカト
申シマスルト、此ノ進級ト云フノハ各
省各官衙デヤリマス爲ニ公務死亡シ
タ場合ニ、マア軍人ダト階等ト申シマ
スガ、文官ノ方ハ昇級デアリマスガ、四
級モ五級モ上ゲルモノガ官衙ニ依リマ
シテアルノデアリマス、ソレカト申シ
マス外ノ官衙デハ非常ニ嚴格デ非常
ニ功勞ガアリ、公務ノ爲ニ死ソデモ一階
級ニ階級シカ上ゲナイト云フ官衙モア
ルノデゴザイマス、詰リ各官衙ニ依リ
マシテソレガ非常ニ區々ニナツテ居ル
ノデアリマス、サウ致シマス、本當
ニ是ハ所謂軍人ノ特別攻撃隊ニ該當ス
ルヤウナモノダト云フコトヲ判定スル
ノハ誰カト云フト、結局ハ恩給裁定官
廳ガソレヲ裁定シナケレバナラヌト云
フコトニナルノデアリマスガ、サウシ
マスト現在ノ狀況カラ見マス、例ヘ
バ恩給局ナラ恩給局デソレヲ判定シ、
是ハ各官廳デ四階級三階級ヲ上ゲテ居

ルカラ、是ハ宜イ、或ハ是ハイカヌ
ト云フノヲ恩給局デ認定スルト云フ
コトハ、非常ニ困難ナ事情ニアリハシ
ナイカト云フコトヲ考ヘマシテ、個人
個人ニ就テ見マスト色々御氣ノ毒デ、
又實際功勞モアリ、實際何トカシタイ
ト云フ御方モアリマスケレドモ、制度
トシテハソレヲチョツト取上ゲニクイ、
殊ニ軍人ノ方ヲ見マスレバ、軍ノ方デ
二階等昇級スルト云フノハ、軍ノ方デ
ハ非常ニ嚴格ニ行ハレテ居ルノデアリ
マシテ、之ニ付キマシテハ私共ノ方カ
ラ見マシテモ何モ問題ハナイノデアリ
マス、サウ云フ意味ニ於キマシテ實際
上ニ於テ二階等以上進級スルノハ特別
攻撃隊ト云フ風ニ、特ニ嚴重ニ守ラレ
テ居リマスカラ、是ハ問題ナインデアリ
マスガ、一般ノ場合ニハ色々困難ナ
場合ガアリマスノデ之ニ限ツタヤウナ
次第デアリマス

○村上泰一君 只今ノ御説明デ一應了

解致シマシタ、此ノ但書ヲ適用スル場
合ハ所謂必死必中デ、初メカラ萬ニ一
ツモ生還ラ期セナイト云フ場合ガ言フ
ノダ、斯ウ云フコトデゴザイマスガ、
是ハ私思ヒマスルニ、其ノ點ニ餘リ重
キヲ御置キニナルコトハ如何カト存
ズルノデス、ト申シマスルノハ對米戰爭
ニ際シ眞珠灣ノ攻撃ヲ行ヒマシタノハ
特別攻撃隊デゴザイマシタ、アノ時ノ
出動ハ初メカラ生還ラ期シナカタ
デハナイ、聯合艦隊司令長官ノ報告ノ
中ニ、彼等ガ其ノヤウナ策ヲ獻ジタガ、
彼等ガ其ノ作業ヲシタ後之ヲ收容スル
見込ガアツタカラ本職ハ之ヲ許シタト
云フコトガ明カニ誣ツテアルノデアリ
マス、併シナガラアノ功績ハ實ニ何ト
モ彼トモ言ヒ様ノナイモノデアリマシ
テ、二階等ノ進級ガアツタノデアリマ

スガ、ア、云フ場合ノコトモ考ヘマシ
テ、只今御説明ノヤウニ所謂必死必中
ノ場合ヲ考ヘタモノダ、ソレノミニ適
用スルモノダト云フ御考ハ如何カト思
フノデアリマス、此ノ點ニ付キマシテ
ノ御見解ヲ伺ツテ置キタイト思ヒマス
○政府委員(平木弘君) 只今ノ御意見
御尤モデゴザイマスルガ、コチラノ方デ
退職ノ際ノ階等ヲ上ゲマスルノハ陸海
軍ノ方ノ進級ニ依ツテ決メルノデゴザ
イマスガ、二階等以上進級サセマスル
ノハ現在ノ處、陸海軍ニ於キマシテハ例
ノ特別攻撃隊デケニナツテ居リマシテ、
眞珠灣ノ時ノアノ勇士ニ對シテハ二階
等ニナツテ居ルノデアリマス、ソレデ
アリマスルカラ是ハドチラカト申シマ
スルガ、陸海軍ノ問題ニナツテ參リマ
スルガ、陸海軍ノ方デモ、眞珠灣ノ時
ニハ二階等ニ止メテ居ツタノヲ、今度
ノ特別攻撃隊ニ付キマシテ二階等以上
昇級サセルコトニナリマシタカラ、謂
ハ其ノ結果ニ伴ツテコツチヲ改正シ
タト、斯ウ云フコトニナル譯デアリマ
ス、ソレカラサツキ私チヨツト説明ガ
不十分ダツタノデスガ、必死必中ト申
シマシタガ、是ト全ク同ジダト云フ事
件ガアレバ、ソレハ勿論同ジヤウニ取
扱フ譯デゴザイマス

○村上泰一君 二階等以上ト云フノハ

二階等ヲ含ムノデセウ
○政府委員(平木弘君) ハア……
○村上泰一君 要スルニ陸海軍ニ於キ
マシテ二階等以上進級シタ、此ノ但書
ニ該當スルト云フ場合ハ、之ヲ適用ス
ルノデセウ、ソレカラ一階等進級シタ
場合ハ、是ハ當然單純ニ退職當時ノ俸
給年額ニ依ルト云フコトニナルノデス
カ

○政府委員(平木弘君) 左様デアリマ

○村上泰一君 本項ノ第一號、第二號
其ノ特例ノ文句ヲ見マスルト、級俸ノ
定アル俸給ニ付昇給ト、昇給ト云フ文
字ガ使ツテアル、但書ノ中ニハ階等ト
云フ文字ガ使ツテアリマス、階等ト云
ヒ、昇給ト云ヒ、彼此文字ガ符合シナ
イノデアリマスガ、是デ解釋上差支ナ
イノデスカ

○政府委員(平木弘君) 恩給法ニ於キ

マシテハ、軍人ニ付キマシテハ、級俸ト
官等ヲ同一ニシテ居ルノデゴザイマス、
ソレデ軍人ニ付キマシテハ階等ト申
シマシテ、其ノ他ノ文官ニ付キマシ
ハ、階等ト級俸ガ別デアリマスカラ、
級俸ト云フ言葉ヲ使ツテ居リマス、ソ
レデ兩方ノ場合ニ、級俸ト云フ言葉ヲ
使ツテ居ルノデゴザイマス

○村上泰一君 サウデスカ、サウ云フ

御解釋ナレバ宜シウデザイマス、ソレ
カラ次ニ、第六十五條ノ二ニ於キマシ
テ今回第二項ガ加リマスル、「前條第一
項但書ノ規定ハ」云々トゴザイマス、
前條トハ第六十五條ノコトト思ヒマス
ルガ、其ノ第一項但書ノ規定ガ此處ニ準
用セラレル……、ドウ云フ關係ニナリ
マスルカ、之ヲ少シ詳シク御説明ヲ願
ヒタイト思ヒマス

○政府委員(平木弘君) 是ハサツキカ

ラ申シマス傷殘年金ノ問題デアリマス
ルガ、傷殘年金ノ問題ハ、傷殘ヲ受ケ
テカラ一年以內ニ退職ト云フコトニ現
在ナツテ居リマスルカラ問題ハナイノ
デアリマスルガ、今度其ノ條件ヲ撤廢
致シマシタ爲ニ、ズツト何年モ在職ス
ルト云フコトヲ考ヘラレテ譯デアリマ
ス、五年、十年或ハ二十年モ引續イテ
在職スルト云フコトモ一應考ヘラレル
譯デアリマス、サウ致シマス云フト、

例へば兵が下士官ニナリ、或ハ准尉將校ニナル場合モ考ヘラレマスノデアリマス、サウ致シマスルコト云フト、傷病年金ハ兵將校ト下士官デハ金額ガ違ツテ來ルノデアリマス、サウ致シマスルト、現在受傷後一年ノ階等デ傷病年金ヲアル譯デアリマスガ、其ノ制限ヲ取リマシタ爲ニ、今度退職當時ト云フコトニナリマス、兵ハ將校ニナツタ傷病年金ヲ受クルコトニナルノデアリマス、ソレデハ少シ適當デナイト云フコトデ、此處ニ五年ト云フ制限ヲ、受傷後五年ノ時ノ階等ニ相當スル金額ヲヤル、何故ソレナラバ五年ニシタカト申シマス、現在増加恩給ガ退職、何年後ニ退職ト云フ規定ガアリマセヌデ、受傷後五年ト云フ規定ガアリマスノデ、増加恩給ト歩調ヲ合シテヤツタラドウカト云フノデ五年ト云フ文字ヲ入レタノデアリマス

○村上泰一君 サウ致シマス、前條ニ適ツテノ質問ニナリマスガ、前條ノ但書ノ五年内ニ退職セザリシ場合ト云フノデアリマスガ、是ハ五年以後ニ退職シタル場合ト同意意味デスカ

○政府委員(平木弘君) 左様デゴザイマス

○村上泰一君 ソレカラ次ハ第九十一條第一項ノ改正デアリマスガ、現行ノ「内地人タル」ト云フ制限ガ取レルノデアリマスガ、從前「内地人タル」ト云フノハ内地ニ本籍ヲ有スルモノト云フコトデアツタノデアリマセウカ

○政府委員(平木弘君) 左様デゴザイマス

○村上泰一君 處デ、樺太ニ本籍ヲ有スルト云フコトハアルノデスカ、ナイノデスカ

○政府委員(平木弘君) 内地人デ樺太

ニ本籍ヲ有スル者ハアル譯デアリマス

○村上泰一君 ソレハ現行規定デハ除外サレテ居ツタノデスカ、内地人デハナイトシテ、内地人ハ内地ニ本籍ヲ有スル者ニ限ル、樺太ニ本籍ヲ有スル者ハ内地人デハナイト云フコトニナツテ居ツタノデスカ

○政府委員(平木弘君) 實ハサウデアリマセヌデ、樺太ニ本籍ヲ持ツテ居ル者デモ内地人トシテ取扱ツテ居リマス

○村上泰一君 此處ニ言フ内地人ト云フノハ、今日ハ内地合併ト言ツテ樺太ハ内地ニ編入サレタト云ツテ居リマスガ、サウナル前ノ規定デ内地人ハ、内地及樺太ニ本籍ヲ有スル者ト云フコトニナルノデアリマス

○政府委員(平木弘君) サウデゴザイマシテ、實ハ内地人ト云フノハ俗ニ言フ朝鮮人、臺灣人ヲ除イテ所謂内地人ト云フ意味デアリマシテ、假リニ樺太土著ノ土人ガ居ツテ、土人ガ假リニ公務員デモアリマスレバ、是ハ内地人デヤナイカト考ヘマスルガ、サウ云フ意味デ樺太ニ本籍ヲ持ツテ居ル内地人ハ總テ内地人トシテ取扱ツテ居リマス

○村上泰一君 今度加ル但書ニ樺太ニ本籍ヲ有スル者ト云フコトハ現ハレマセヌガ、是デ宜シウゴザイマスガ、強ヒテ考ヘマスレバ樺太ニ本籍ヲ有スル公務員ガ樺太ニ在勤シタル時ハト云フコトガ考ヘラレマスガ、如何デスカ

○政府委員(平木弘君) ソレハ樺太ニ本籍ヲ有スル内地人ニ對シテハ樺太ニ植民地加算ヲ附ケル積リデアリマスカラ、此ノ例外規定ニ入レテ居リマセヌ

○村上泰一君 樺太ニ本籍ヲ有スル原住民ハドウデスカ

○政府委員(平木弘君) ソレハ現在ナイノデスカ、内地人ダケヲ豫想シテ

斯ウ云フ風ナ規定ニシテ居リマス

○村上泰一君 「アイヌ」人ハ内地人デスネ、續イテ附則ニ入りマスガ、附則ノ第一條、此ノ第三十三條ノ改正規定ヲ昨年ノ一月一日カラ適用スル、其ノ以前ニ適ナリ、是ハ結局程度ノ問題デアリマスガ、實際是デ宜シイノデスカ

○政府委員(平木弘君) 是ハ先程モチヨツト申上ゲマシタ通りニ、内國交戦地勤務加算ヲ地方ニイツカラ附ケルカト云フコトハ決ツテ居リマセヌ、大體南洋群島其ノ他ノ離島ニ附ケルト云フコトニナルドラウト思ヒマス、是等ノ地方ノ交戦ノ状態ヲ見マス、大體去年ノ一月一日以前ハ斯ウ云フ規定ヲ殆ト適用スル必要ガナイ、問題ガアルトスレバ一月以後ニイツカラ附ケルカト云フコトガ戰闘ノ行ハレタ状況カラ見マシテ適當ト考ヘマシテ、一月一日ニ致シタ次第デアリマス

○村上泰一君 續イテ附則ノ第二條ノ終リノ方ニ「本法施行後勅令ノ定ムル所ニ依リ傷病ノ程度ヲ査定シ將來ニ向ツテ之ヲ給ス」トアリマスガ、此ノ「勅令ノ定ムル所ニ依リ」ト云フノハ「傷病ノ程度ヲ査定シ」ニ係ルノデアリマスガ、又將來ニ向ツテニ係ルノデアリマスルカ

○政府委員(平木弘君) 「傷病ノ程度ヲ査定シ」ニ係ルノ考ヘテ居リマス

○村上泰一君 「本法施行後」ト云フコトハ將來ニ向ツテト云フノハ違フノデスカ、本法施行後、將來ニ向ツテトスウ重ネテ規定スル必要ガアルノデスカ

○政府委員(平木弘君) 嚴格ニ申シマスト結局同ジコトデゴザイマスルガ、或ハ本法施行後之ヲ給スダケデモ分ルト思ヒマスルガ、今迄斯ウ云フ用語例デ全部來テ居リマシテ、斯ウ云フ言葉

ヲ使ツタノデゴザイマス

○村上泰一君 ソレカラ是ハ所謂「テニヲハ」ニ屬スルコトデアリマスルガ、氣付イタ儘ニ申上ゲマスガ、此ノ條ニ於キマシテ「昭和十六年十二月八日以後本法施行前失格原因ナクシテ退職シタルモ改正前ノ恩給法第四十六條ノ二ノ規定ニ依リ傷病年金ヲ給セラレザル者ニハ」ト斯ウアリマス、今私ガ讀ミマシタ所ノ退職シタルモ、退職シタルノデアルガ、ト斯ウ云フ表現ヲ用ヒルコトハ間違ヒデヤナイデセウカ、此ノ本法施行前ニ退職シタル者ニ改正前ノ傷病年金ヲ給セラレザル……チヨツト間違ヒマシタ、誤解シテ居リマシタノデ、最後ノ質問ヲ取消シマス、ソレデ此ノ第二條ハ分リマシタ、ソレカラ第三條デスガ、第三條ノ矢張り終リノ方ニ「勅令ノ定ムル所ニ依リ將來ニ向ツテ増給ス」トアリマスガ、此ノ勅令ノ定ムル所ニ依リ、ト云フコトハ、此處デハ將來ニ向ツテニ係ルノデスカ

○政府委員(平木弘君) 是ハ勅令デ一ツ規定スル事項ガアルノデアリマスルガ、是ハ詰リ今迄其ノ該當者デ實ツテ居ナイ人デ今度拾ヒ上ゲル人ヲ、本人ノ申請ニ基イテヤルカ、申請ヲ待タズシテ職權ヲ以テヤルカト云フコトガマダ明瞭ニナ テ居リマセヌノデ、其ノ點モ規定シナクチャイカスノデゴザイマス、サウ云フコトモ含ンデ居リマス

○村上泰一君 第三條ニハ、本法施行後將來ニ向ツテ、ト斯ウアリマセヌ、本法施行後ト云フ文字ガアリマセヌガ、前條トハ少シ違ヒマスガ、是デ宜シイノデスカ

○政府委員(平木弘君) 説明員カラ説明サシテ戴キタイト思ヒマスガ

○委員長(黑崎定三君) 恩給局長カラ

ノ申出ガアリマシテ、只今ノ村上サンノ御質問ニ付テノ御答ハ説明員カラサセタイト云フコトデアリマスガ、御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○委員長(黑崎定三君) ソレデハ其ノ通りニ致シマス

○説明員(今枝常男君) ソレデハ便宜私カラ申上ゲマス、御指摘ノヤウニ多少此ノ言葉トシテハ足りナカッタカモ知レマセヌガ、第二條ノ方ニハ傷病ノ程度ヲ査定シト云フコトガゴザイマシテ、査定ノ行為ヲ本法施行後ヤルト云フ氣持ガ、査定シト云フコトガアリマス結果ハツキリ致シマシタ、ソレデ施行後ト云フモノガ入ツテ參リマシタガ、三條ノ方ハ其ノ處分行為、處分ニ出テ居リマセヌ結果、本法施行後ト云フ言葉ガ落チテ來タ結果ニナリマス、併シ御指摘ノヤウニ或程度用語ニ十分ノ點ガアルト思ヒマス

○村上泰一君 續イテ第三條、凡ソムヅカシイ書キ方ヲシタル、或金額ト或金額トノ差額ヲ増給スルト云フ風ニイテアリマスガ、是ハ言換ヘレバ將來ニ向ツテハ改正規定ヲ適用スルト云フノト同ジコトデヤナイノデセウカ、違ヒマスカ

○委員長(黑崎定三君) 是亦説明員カラ説明致シマス

○説明員(平塚量三君) 改正規定ヲ適用ニナルノデナクテ、其ノ不當ノ範圍ダケヲ遡ツテヤル若シ適用ト云フコトニナルト今迄ノ裁定ガ誤リニナツテ、モウ一遍裁定ヲやり直スト云フコトニナルノデスカ、是ハサウデナクテ、先ニ向ツテダケ……今迄ノハ正當デアルケレドモ、將來ニ向ツテダケ増額シテヤルコトニナリマス

○村上泰一君 サウシマスレバ、改正規定ヲ適用シテ改定スルト云フコトニナルノデスカ

シテ、地方廳ニ於テ直チニ其ノ査定ヲ行ツタノデアリマスガ、此ノヤウナ手續、ソレヲ此ノ恩給ヲ受ケル本人トハ言ヒナガラ、一般ノ民衆デ、之ヲ知ラナイハ姑ラク措キマシテ、此ノ事務ヲ取扱フ府縣廳ナリ、文部省ナリノ係員モ氣付カナイデ、最後ノ内閣迄提出シタ、最後ノ内閣ニ至ツテ初メテ其ノ誤リヲ教ヘラレタ、是ハ經由官廳ノ係員ノ不注意デモアリマセウガ、一面ニハ又恩給法ト云フモノガ分リニクイ、一般ノ民衆ニ分ラナイバカリデヤナイ、其ノモノヲ取扱ツテ居ル官廳ノ係員ニモ分リニクイト云フコトガアルノデヤナカラウカト思フノデアリマス、最近其ノヤウナ一ツノ事例ニ出會ヒモシマシタノデ、私ハ一層此ノ感ヲ深メテ居リマス、ドウゾ此ノ恩給法規ヲモツトノ素人分リノスルヤウニスルト云フコトニ、更ニ々々御筆力ヲ願ヒタイ、狙ヒ所ヲ其處ニ置キヤウニ、法理デ政メテモ斯ウ書クノガ正當デ、是デ分ラナイノハ、分ラナイノガ惡イシデ、斯ウ云ツタヤウナ考ヘ方デハナシニ、成ルベク素人ニ分リ好イヤウニ、平タク條文ヲ作ルト云フコトヲ狙シテ戴キタイト思フノデス、私ノ希望トシテ、申添ヘテ置キマス、續イテ國勢調査ノ特別法ニ付キマシテ、私ノ質問ヲシテ宜シウゴザイマス

○委員長(黒崎定三君) 宜シウゴザイマス

○村上泰一君 先ヅ伺ヒマスノハ、今度ノ此ノ單行法案ニハ直接關係ノナイコトデアリマスガ、國勢調査ニ付テノ基礎タル法律、法源ト謂ヒマスガ、是ハ先ヅ以テハ、明治三十五年法律第四十九號國勢調査ニ關スル法律ト云フノガ擧ゲラレマスガ、是ダケニハ限ラナイヤウニ昨日來ノ御説明デ承知致シマシタ、即チ資源調査法、アレモ矢張り法律デスネ、ソレカラハツキリ覺エマセウガ、昨年アタリ事務ノ調査ニ付テ何カ法ノ根據ヲ與ヘルト云フノデ、法律ヲ制定サレタノデヤナカッタデセウカ、是ハ私ノ記憶違ヒカモ知レマセウガ、所謂國勢調査ノ外ニ、資源調査ニシテモ何ニシテモ、要スルニ國勢調査ニ外ナラナイ、全面的若シハ部分的ノ國勢調査デアラウト思ヒマス、國勢調査ニ關スル法源ヲ一本建ニシナイデ、二本建或ハ三本建ニシテアルト云フノハ、ドウ云フ理由デアリマスガ、一元化ト云フコトニ深イ理由ガアルノデモナイトモ思ヒマスガ、併シ此ノ一元化ト云フコトハ確カニ有效デモアリマシ、又便利ナ點モアル次第デアリマス、何故ニ國勢調査ニ關スル法源ヲ一元化スルコトガ出來ナイノデアリマシカ、此ノ點ヲ御教ヘヨ願ヒタイと思ヒマス

○政府委員(川島孝彦君) 今御質問ゴザイマシタガ、之ニハ沿革ガアルコトデゴザイマスカラ、其ノ點カラ申上ゲテ置キマス、ソレハ國勢調査ヲ施行致シマス普通ノ、正式ノ根據法ハ、明治三十五年法律第四十九號デアリマスガ、是ハ其ノ當時ニ於テハ、マダ資源調査法モ、或ハ統計資料實地調査ニ關スル法律ト云フヤウナ統計ニ關スル法律ガ一ツモナカッタ頃デゴザイマス、サウシテハ衆議院ノ議員カラ提出サレタモノデアリマシテ、明治二十七八年頃カラ、我が國ニ於テモ、西洋デ言フ所ノ「センサス」ヲ行ハナケレバナラヌト云フ議論ガ非常ニ強クナリマシテ、色々ナ建議モ出タリシマシタ結果、遂ニ議員提出ノ法律案ガ兩院ヲ通過致シマシテ、此ノ明治三十五年法律第四十九號ト云フモノガ出來タノデアリマス、此ノ際ノ提出者ノ提出理由、或ハ立法精神ト申シマスノハ、速記録等デ見マシタル、國勢ノ基本ニ關スル一齊調査スル云フヤウナ意味ガ強イノデゴザイマス、其ノ後資源調査法ガ出來マシタガ、是ハ、大正二入ツテカラデアリマシテ、軍需工業動員法ニ代ツテ出來マシタモノデ、政府ガ其ノ調査ヲ得ル權能ヲ持チマス、其ノ趣旨ハ、統計調査ト云フヨリモ、個々ノモノニ就キマシテ臺帳式ニ調ベル、斯ウ云フ意味ガ其ノ當時強カッタモノデアリマス、ソレデ公式ニハ出テ居リマセヌケレドモ、法制局アタリデ資源調査法ノ審議ヲ致シマシタ際ニハ、其ノ資源調査法第一條ノ「人の及物的資源ノ調査ノ爲ニ必要アルトキハ」報告又ハ實地申告ヲ命ズルコトヲ得」ト云フコトノ中ニハ、國勢調査ノ如キ、或ハ又統計資料實地調査ノ内容ノ如キ、統計調査ハ含マナイコトニ解釋シヨウト云フヤウナ解釋ガゴザイマシタ、ソナ關係デ資源調査法ガ出來マシタ際ニ、國勢調査ニ關スル法律モ一本ニセズ其ノ儘來テ居ル譯デアリマス、デアリマスカラ所謂國勢調査「センサス」ト言ハレルモノヲ資源調査法ニ基キマシテ行フコトハ少シ無理ナ解釋デゴザイマス、昨年人口調査ヲヤリマシタ際ニモ色々疑問モアリマシタガ、國勢調査ニ關スル法律ニ依ツテ行フ法律改正ヲ致ス餘裕ガナカッタ爲ニ、無理デ解釋デハアルケレドモ、之ニ依ラウ、斯ウ云フヤウナ態度デ調査ヲ施行致シタ次第デアリマス、デアリマスカラ多少成立チガ違ヒマスシ、又「センサス」ト云フ國勢ノ基本ヲ正確ニ調ベルト云フ法規ト、ソレカラ資源運用ノ爲ニ必要ガアル場合ニ其ノ部分々々ニ付、其ノ事項々々ニ付テ調ベルト云フコトニ付テハ多少意味ノ違ヒガアルノデゴザイマス、併シ現在ニ於キマシテハ、實際ニ於テ各國デヤツテ居リマス所ヲ見マスト、臺帳式ノ調査ト統計ノ二集計ヲスルコトヲ目的ニシタ調査トヲ兩方一緒ニ合セテ行ヒ得ルヤウナ行キ方ヲ致シテ居ルノデアリマス、此ノ點ニ於キマシテハ將來何等カ考慮スベキ必要ガアルト考ヘテ居リマス、現在デハ先程申シマシタヤウナ解釋ヲ採ツテ居ル譯デアリマス

○村上泰一君 一方ノ明治三十五年法律第四十九號、此ノ法律ノ主管官廳ハ内閣統計局ト思ヒマスガ、資源調査法ノ主管官廳ハドナラデスカ

○村上泰一君 是デ私此ノ恩給法改正案ニ付キマシテノ逐條ノ質問ハ一應終リマスガ、最後ニ申述ベタイコトハ質問デヤナクテ希望デアリマス、サウシテソレハ私が機會アル毎ニ度々申述ベテ居ルコトデアリマス、ドウモ此ノ恩給法ノ規定ガ如何ニモムツカシイ、少シ意地ノ惡イ見方ヲシマスレバ殊更ニムツカシク書イタル、殊更表現ヲ分リニクシテアル言ツタヤウナ感ジスラ起ラヌコトモナイノデス、現ニ私が質問シマシタ最後ノ附則ノ第三條ノ文句ノ如キハ、私が申シマスレバ我が田ニ水ヲ引クヤウニナル嫌ヒモアリマスルガ、前刻質問ニ申述ベマシタ通り、此ノ金額ト此ノ金額トノ差額ヲ増給スルト、斯ウ言ツタヤウナコトヲ言ハズニ、改正規定ヲ適用シテ改定スルト斯ウ言ツタ方が遙カニ素人分リガスルト思フノデス、恩給局ノ皆サンハ御勉強ノ結果、非常ニ推戴シ、非常ニ審議シテ斯ウ云フ法文ヲ御作ニナツタ其ノ御勞苦ハ多ト致シマスルガ、モツト素人分リノスルヤウニト云フ所ヲ狙ツテ此ノ條文ヲ作ツテ戴キタイ、斯ウ思フノデス、餘談ニ互リマスガ、是ハ平木恩給局長ハ能ク御承知ノコトデアリマスガ、最近ニ私ノ知人、地方ノ府縣立ノ中等學校ノ職員デアリマシタ者ガ退職シテ恩給ヲ請求スル、本人ガ其ノ請求書ヲ提出シマシテ府縣廳ヲ經、文部省ヲ經テ最後ニ内閣恩給局ニ到達シマシタ頃ハ、同局ニ於キマシテハ、是ハ地方長官ガ裁定スベキモノダト云フノデ却下サレマ

シテ、地方廳ニ於テ直チニ其ノ査定ヲ行ツタノデアリマスガ、此ノヤウナ手續、ソレヲ此ノ恩給ヲ受ケル本人トハ言ヒナガラ、一般ノ民衆デ、之ヲ知ラナイハ姑ラク措キマシテ、此ノ事務ヲ取扱フ府縣廳ナリ、文部省ナリノ係員モ氣付カナイデ、最後ノ内閣迄提出シタ、最後ノ内閣ニ至ツテ初メテ其ノ誤リヲ教ヘラレタ、是ハ經由官廳ノ係員ノ不注意デモアリマセウガ、一面ニハ又恩給法ト云フモノガ分リニクイ、一般ノ民衆ニ分ラナイバカリデヤナイ、其ノモノヲ取扱ツテ居ル官廳ノ係員ニモ分リニクイト云フコトガアルノデヤナカラウカト思フノデアリマス、最近其ノヤウナ一ツノ事例ニ出會ヒモシマシタノデ、私ハ一層此ノ感ヲ深メテ居リマス、ドウゾ此ノ恩給法規ヲモツトノ素人分リノスルヤウニスルト云フコトニ、更ニ々々御筆力ヲ願ヒタイ、狙ヒ所ヲ其處ニ置キヤウニ、法理デ政メテモ斯ウ書クノガ正當デ、是デ分ラナイノハ、分ラナイノガ惡イシデ、斯ウ云ツタヤウナ考ヘ方デハナシニ、成ルベク素人ニ分リ好イヤウニ、平タク條文ヲ作ルト云フコトヲ狙シテ戴キタイト思フノデス、私ノ希望トシテ、申添ヘテ置キマス、續イテ國勢調査ノ特別法ニ付キマシテ、私ノ質問ヲシテ宜シウゴザイマス

○政府委員(川島孝彦君) 今御質問ゴザイマシタガ、之ニハ沿革ガアルコトデゴザイマスカラ、其ノ點カラ申上ゲテ置キマス、ソレハ國勢調査ヲ施行致シマス普通ノ、正式ノ根據法ハ、明治三十五年法律第四十九號デアリマスガ、是ハ其ノ當時ニ於テハ、マダ資源調査法モ、或ハ統計資料實地調査ニ關スル法律ト云フヤウナ統計ニ關スル法律ガ一ツモナカッタ頃デゴザイマス、サウシテハ衆議院ノ議員カラ提出サレタモノデアリマシテ、明治二十七八年頃カラ、我が國ニ於テモ、西洋デ言フ所ノ「センサス」ヲ行ハナケレバナラヌト云フ議論ガ非常ニ強クナリマシテ、色々ナ建議モ出タリシマシタ結果、遂ニ議員提出ノ法律案ガ兩院ヲ通過致シマシテ、此ノ明治三十五年法律第四十九號ト云フモノガ出來タノデアリマス、此ノ際ノ提出者ノ提出理由、或ハ立法精神ト申シマスノハ、速記録等デ見マシタル、國勢ノ基本ニ關スル一齊調査スル云フヤウナ意味ガ強イノデゴザイマス、其ノ後資源調査法ガ出來マシタガ、是ハ、大正二入ツテカラデアリマシテ、軍需工業動員法ニ代ツテ出來マシタモノデ、政府ガ其ノ調査ヲ得ル權能ヲ持チマス、其ノ趣旨ハ、統計調査ト云フヨリモ、個々ノモノニ就キマシテ臺帳式ニ調ベル、斯ウ云フ意味ガ其ノ當時強カッタモノデアリマス、ソレデ公式ニハ出テ居リマセヌケレドモ、法制局アタリデ資源調査法ノ審議ヲ致シマシタ際ニハ、其ノ資源調査法第一條ノ「人の及物的資源ノ調査ノ爲ニ必要アルトキハ」報告又ハ實地申告ヲ命ズルコトヲ得」ト云フコトノ中ニハ、國勢調査ノ如キ、或ハ又統計資料實地調査ノ内容ノ如キ、統計調査ハ含マナイコトニ解釋シヨウト云フヤウナ解釋ガゴザイマシタ、ソナ關係デ資源調査法ガ出來マシタ際ニ、國勢調査ニ關スル法律モ一本ニセズ其ノ儘來テ居ル譯デアリマス、デアリマスカラ所謂國勢調査「センサス」ト言ハレルモノヲ資源調査法ニ基キマシテ行フコトハ少シ無理ナ解釋デゴザイマス、昨年人口調査ヲヤリマシタ際ニモ色々疑問モアリマシタガ、國勢調査ニ關スル法律ニ依ツテ行フ法律改正ヲ致ス餘裕ガナカッタ爲ニ、無理デ解釋デハアルケレドモ、之ニ依ラウ、斯ウ云フヤウナ態度デ調査ヲ施行致シタ次第デアリマス、デアリマスカラ多少成立チガ違ヒマスシ、又「センサス」ト云フ國勢ノ基本ヲ正確ニ調ベルト云フ法規ト、ソレカラ資源運用ノ爲ニ必要ガアル場合ニ其ノ部分々々ニ付、其ノ事項々々ニ付テ調ベルト云フコトニ付テハ多少意味ノ違ヒガアルノデゴザイマス、併シ現在ニ於キマシテハ、實際ニ於テ各國デヤツテ居リマス所ヲ見マスト、臺帳式ノ調査ト統計ノ二集計ヲスルコトヲ目的ニシタ調査トヲ兩方一緒ニ合セテ行ヒ得ルヤウナ行キ方ヲ致シテ居ルノデアリマス、此ノ點ニ於キマシテハ將來何等カ考慮スベキ必要ガアルト考ヘテ居リマス、現在デハ先程申シマシタヤウナ解釋ヲ採ツテ居ル譯デアリマス

○村上泰一君 一方ノ明治三十五年法律第四十九號、此ノ法律ノ主管官廳ハ内閣統計局ト思ヒマスガ、資源調査法ノ主管官廳ハドナラデスカ

○村上泰一君 一方ノ明治三十五年法律第四十九號、此ノ法律ノ主管官廳ハ内閣統計局ト思ヒマスガ、資源調査法ノ主管官廳ハドナラデスカ

○村上泰一君 一方ノ明治三十五年法律第四十九號、此ノ法律ノ主管官廳ハ内閣統計局ト思ヒマスガ、資源調査法ノ主管官廳ハドナラデスカ

○村上泰一君 一方ノ明治三十五年法律第四十九號、此ノ法律ノ主管官廳ハ内閣統計局ト思ヒマスガ、資源調査法ノ主管官廳ハドナラデスカ

○村上泰一君 一方ノ明治三十五年法律第四十九號、此ノ法律ノ主管官廳ハ内閣統計局ト思ヒマスガ、資源調査法ノ主管官廳ハドナラデスカ

○村上泰一君 一方ノ明治三十五年法律第四十九號、此ノ法律ノ主管官廳ハ内閣統計局ト思ヒマスガ、資源調査法ノ主管官廳ハドナラデスカ

○村上泰一君 一方ノ明治三十五年法律第四十九號、此ノ法律ノ主管官廳ハ内閣統計局ト思ヒマスガ、資源調査法ノ主管官廳ハドナラデスカ

○村上泰一君 一方ノ明治三十五年法律第四十九號、此ノ法律ノ主管官廳ハ内閣統計局ト思ヒマスガ、資源調査法ノ主管官廳ハドナラデスカ

○村上泰一君 一方ノ明治三十五年法律第四十九號、此ノ法律ノ主管官廳ハ内閣統計局ト思ヒマスガ、資源調査法ノ主管官廳ハドナラデスカ

○村上泰一君 一方ノ明治三十五年法律第四十九號、此ノ法律ノ主管官廳ハ内閣統計局ト思ヒマスガ、資源調査法ノ主管官廳ハドナラデスカ

○村上泰一君 一方ノ明治三十五年法律第四十九號、此ノ法律ノ主管官廳ハ内閣統計局ト思ヒマスガ、資源調査法ノ主管官廳ハドナラデスカ

○村上泰一君 一方ノ明治三十五年法律第四十九號、此ノ法律ノ主管官廳ハ内閣統計局ト思ヒマスガ、資源調査法ノ主管官廳ハドナラデスカ

○村上泰一君 一方ノ明治三十五年法律第四十九號、此ノ法律ノ主管官廳ハ内閣統計局ト思ヒマスガ、資源調査法ノ主管官廳ハドナラデスカ

○村上泰一君 一方ノ明治三十五年法律第四十九號、此ノ法律ノ主管官廳ハ内閣統計局ト思ヒマスガ、資源調査法ノ主管官廳ハドナラデスカ

○村上泰一君 一方ノ明治三十五年法律第四十九號、此ノ法律ノ主管官廳ハ内閣統計局ト思ヒマスガ、資源調査法ノ主管官廳ハドナラデスカ

○村上泰一君 一方ノ明治三十五年法律第四十九號、此ノ法律ノ主管官廳ハ内閣統計局ト思ヒマスガ、資源調査法ノ主管官廳ハドナラデスカ

○村上泰一君 一方ノ明治三十五年法律第四十九號、此ノ法律ノ主管官廳ハ内閣統計局ト思ヒマスガ、資源調査法ノ主管官廳ハドナラデスカ

○村上泰一君 一方ノ明治三十五年法律第四十九號、此ノ法律ノ主管官廳ハ内閣統計局ト思ヒマスガ、資源調査法ノ主管官廳ハドナラデスカ

○村上泰一君 一方ノ明治三十五年法律第四十九號、此ノ法律ノ主管官廳ハ内閣統計局ト思ヒマスガ、資源調査法ノ主管官廳ハドナラデスカ

○村上泰一君 一方ノ明治三十五年法律第四十九號、此ノ法律ノ主管官廳ハ内閣統計局ト思ヒマスガ、資源調査法ノ主管官廳ハドナラデスカ

○村上泰一君 一方ノ明治三十五年法律第四十九號、此ノ法律ノ主管官廳ハ内閣統計局ト思ヒマスガ、資源調査法ノ主管官廳ハドナラデスカ

○村上泰一君 一方ノ明治三十五年法律第四十九號、此ノ法律ノ主管官廳ハ内閣統計局ト思ヒマスガ、資源調査法ノ主管官廳ハドナラデスカ

○村上泰一君 一方ノ明治三十五年法律第四十九號、此ノ法律ノ主管官廳ハ内閣統計局ト思ヒマスガ、資源調査法ノ主管官廳ハドナラデスカ

○村上泰一君 一方ノ明治三十五年法律第四十九號、此ノ法律ノ主管官廳ハ内閣統計局ト思ヒマスガ、資源調査法ノ主管官廳ハドナラデスカ

○村上泰一君 一方ノ明治三十五年法律第四十九號、此ノ法律ノ主管官廳ハ内閣統計局ト思ヒマスガ、資源調査法ノ主管官廳ハドナラデスカ

○村上泰一君 一方ノ明治三十五年法律第四十九號、此ノ法律ノ主管官廳ハ内閣統計局ト思ヒマスガ、資源調査法ノ主管官廳ハドナラデスカ

○村上泰一君 一方ノ明治三十五年法律第四十九號、此ノ法律ノ主管官廳ハ内閣統計局ト思ヒマスガ、資源調査法ノ主管官廳ハドナラデスカ

○村上泰一君 一方ノ明治三十五年法律第四十九號、此ノ法律ノ主管官廳ハ内閣統計局ト思ヒマスガ、資源調査法ノ主管官廳ハドナラデスカ

○村上泰一君 一方ノ明治三十五年法律第四十九號、此ノ法律ノ主管官廳ハ内閣統計局ト思ヒマスガ、資源調査法ノ主管官廳ハドナラデスカ

○村上泰一君 一方ノ明治三十五年法律第四十九號、此ノ法律ノ主管官廳ハ内閣統計局ト思ヒマスガ、資源調査法ノ主管官廳ハドナラデスカ

○村上泰一君 一方ノ明治三十五年法律第四十九號、此ノ法律ノ主管官廳ハ内閣統計局ト思ヒマスガ、資源調査法ノ主管官廳ハドナラデスカ

○村上泰一君 一方ノ明治三十五年法律第四十九號、此ノ法律ノ主管官廳ハ内閣統計局ト思ヒマスガ、資源調査法ノ主管官廳ハドナラデスカ

○村上泰一君 一方ノ明治三十五年法律第四十九號、此ノ法律ノ主管官廳ハ内閣統計局ト思ヒマスガ、資源調査法ノ主管官廳ハドナラデスカ

○村上泰一君 一方ノ明治三十五年法律第四十九號、此ノ法律ノ主管官廳ハ内閣統計局ト思ヒマスガ、資源調査法ノ主管官廳ハドナラデスカ

○村上泰一君 一方ノ明治三十五年法律第四十九號、此ノ法律ノ主管官廳ハ内閣統計局ト思ヒマスガ、資源調査法ノ主管官廳ハドナラデスカ

○村上泰一君 一方ノ明治三十五年法律第四十九號、此ノ法律ノ主管官廳ハ内閣統計局ト思ヒマスガ、資源調査法ノ主管官廳ハドナラデスカ

○村上泰一君 一方ノ明治三十五年法律第四十九號、此ノ法律ノ主管官廳ハ内閣統計局ト思ヒマスガ、資源調査法ノ主管官廳ハドナラデスカ

○村上泰一君 一方ノ明治三十五年法律第四十九號、此ノ法律ノ主管官廳ハ内閣統計局ト思ヒマスガ、資源調査法ノ主管官廳ハドナラデスカ

○村上泰一君 一方ノ明治三十五年法律第四十九號、此ノ法律ノ主管官廳ハ内閣統計局ト思ヒマスガ、資源調査法ノ主管官廳ハドナラデスカ

官廳ノ繩張争ヒト云フヤウナ事態ヲ生ズルヤウナコトガアリマシテハ、甚ダ遺憾ニ思ヒマス、權限ヲ委スコトハ必要デアリマセウガ、是ガ爲ニ繩張争ヒト言ハレルヤウナ弊害ヲ生ジテハナラヌト思ヒマス、只今統計局長ノ御説明ニ依リマシテ、此ノ兩者ヲ併合シテ一元化スルコト云フコトハ將來ニ約束サレル問題ト云フコトデアリマシタ、其ノ結論ヲ茲ニ直ニ伺フコトハ無論出

來ナイノデアリマスルガ、兎角世間ノ非難ヲ受ケルヤウナ行政上ノ弊害ヲ生ゼシメザルベク十分ノ御考慮ヲ願ヒタイト思ヒマス、ソレカラ昭和二十年今年ニ於キマシテハ法律ニ依リマシテ、所謂簡易ナル國勢調査ヲ行ハウト仰シタルデスナ、ソレヲ省略シヨウト云フコトデアリマス、成ル程法律ノ規定ニ對スル特例デアリマスカラ、更ニ又法律ヲ要スルコトモアリマスカ、若シ昭和二十年ニ現行法ノ通り此ノ國勢調査ヲ行ハウトスレバ相當ノ費用ヲ要スル、ソレハ昭和二十年度ノ豫算ニ計上サレル筈ト思ヒマスガ、此ノ事ニ付キマシテノ豫算關係ハドウナツテ居ルノデアリマスカ

○政府委員(川島孝彦) 只今ノ御質問ハ多分此ノ法律ニ依ラナイデ、別ニ資源調査法ニ依リマシタ調査ヲ施行スル場合ノ豫算關係ノコトト存ジマスガ

○村上一君 違ヒマス、サウデヤナイ、此ノ特例法律ガ成立スル爲ニハ昭和二十年度ニ於テハ簡易ナル國勢調査ヲ行フ筈デセウ、從ツテ其ノ經費ハ豫算ニ計上サレル筈デセウ、其ノ經費ハ豫算ニ計上シテアルカナイカ

○政府委員(川島孝彦) ソレハ豫算ニ計上シテ居リマセウ

○村上一君 サウシマスト法律ノ改正ヲ豫期シテ豫算ニ編入シナカッタ、斯ウ云フコトニナルノデスカ

○政府委員(川島孝彦) サウ云フ譯デゴザイマス

○村上一君 其ノ事ハ帝國議會ノ權能ニ關スル政府ノ見解トシテドウ云フモノデセウカ

○政府委員(川島孝彦) 是ハ法律ヲ提出シマスル時ニ其ノ結果ヲ豫見シテ致シマスコトハ甚ダ不當ト存ジマスガ、私政府ノ方ノ考ト致シマシテハ法律案ノ成立ヲシナイコトヲ豫見シタノデアリマセウデ、若シ法律案ガ成立シナイ場合ニハ豫備金支出シテ行キタイ

○村上一君 若シハ追加豫算ト云フ手モアリマスカ、分リマシタ

○政府委員(川島孝彦) ソレデ豫算ノ計算ノ關係上、當初豫算ニハ控ヘタ譯デアリマス

○村上一君 此ノ本年行フベキ筈デアツタ國勢調査、ソレハ簡易ナルモノニセヨ、ソレヲ行フコトニハ手数モ掛カル、費用モ掛カル、又紙其ノ他ノ物費ガ要ル、之ヲ節約スルコト云フコトガ今日必要ダト云フノデ、外ニモ理由ハアリマセウガ、サウ云フヤウナ理由モアツテ國勢調査ヲ省略スルコト云フコトハ分リマシタガ、其ノ結果何カ不都合ヲ生ズルコトハナイデセウカ、既ニ此ノ國勢調査ニハ相當ノ利益ガアルニ違ヒナイ、其ノ利益ヲ犧牲ニスル、其ノ結果ト云フヤウナ都合ガ考ヘラレルデアリマセウガ、ソレハ此ノ國勢調査ノ利益ト云フコトト裏表ノ問題デスカ、其ノ點ニ付キマシテノ御見解ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(川島孝彦) 定期的ニ今迄國勢調査ヲ施行致シマシテ、ソレニ依ツテ統計上ノ計算ヲシテ將來ノ人口ノ推計ヲ致スコトガ一ツノ國勢調査ノ目的ニナツテ居リマス、其ノ點ニ付キマシテハ其ノ推計ノ材料ガナクナリマス關係上、將來ノ人口ノ推計ハ非常ナ支障ヲ來スドラウト思ヒマス、ソレカラハ言フ迄モナイコトデアリマスガ、最近ノ國民ノ情勢ト云フモノハ、此ノ調査ガ施行サレマシタナラバ、少クとも一年間位ノ間ニハ分リマスガ、ソレガ分ラナイ、種々ノ點ニ於テ支障ヲ來スト云フヤウナ點ガ考ヘラレマスルシ、是ハ亦一面ノ考ヘ方デアリマシテ、斯ウ云フ戰時下ニ於テ、非常ニ數字ノ不確カナモノガ出來マス、或ハ從來ノ國勢調査ノ利益ヲ阻害スルコトニハ酷ク缺點ハナイト云フヤウナ點ハ考ヘラレ

○村上一君 是ハ此ノ國勢調査ヲ省略スル方ニ飛躍スル考ニナリマスルガ、最初出來マシタ法律ハ十年毎ノ範圍ノ國勢調査ヲ見テ居ツテ、其ノ後ノ改正ニ依リマシテ五年毎ニ簡易ナル國勢調査ヲ行フコト云フコトニナリマシタ、其ノ簡易ナル國勢調査ハ獨リ昭和二十年ノ分ニ限ラズ、當分ノ内ニテ省略スルコト云フヤウナコトガ考ヘラレナイデセウカ

○政府委員(川島孝彦) 是ハ御見解デゴザイマスガ、私共ノ考ヘト致シマシテハ、現在ノヤウニ世ノ中ノ各種ノ變動ガ激シタナリマス、五年デモ足リナイデハナイカ、寧ろ簡易ナル調査ヲ毎年、或ハ二年置キ位ニスル必要ガアルノデハナイカト云フ風ニ考ヘテ居リマス

○村上一君 私人質問ハ一應是デ終リマシタ

○男爵井田馨楠君 私人恩給法ノ件ニ付キマシテ極メテ簡單ナ事ヲ一二御伺

ノ推計ヲ致スコトガ一ツノ國勢調査ノ目的ニナツテ居リマス、其ノ點ニ付キマシテハ其ノ推計ノ材料ガナクナリマス關係上、將來ノ人口ノ推計ハ非常ナ支障ヲ來スドラウト思ヒマス、ソレカラハ言フ迄モナイコトデアリマスガ、最近ノ國民ノ情勢ト云フモノハ、此ノ調査ガ施行サレマシタナラバ、少クとも一年間位ノ間ニハ分リマスガ、ソレガ分ラナイ、種々ノ點ニ於テ支障ヲ來スト云フヤウナ點ガ考ヘラレマスルシ、是ハ亦一面ノ考ヘ方デアリマシテ、斯ウ云フ戰時下ニ於テ、非常ニ數字ノ不確カナモノガ出來マス、或ハ從來ノ國勢調査ノ利益ヲ阻害スルコトニハ酷ク缺點ハナイト云フヤウナ點ハ考ヘラレ

○村上一君 是ハ此ノ國勢調査ヲ省略スル方ニ飛躍スル考ニナリマスルガ、最初出來マシタ法律ハ十年毎ノ範圍ノ國勢調査ヲ見テ居ツテ、其ノ後ノ改正ニ依リマシテ五年毎ニ簡易ナル國勢調査ヲ行フコト云フコトニナリマシタ、其ノ簡易ナル國勢調査ハ獨リ昭和二十年ノ分ニ限ラズ、當分ノ内ニテ省略スルコト云フヤウナコトガ考ヘラレナイデセウカ

○政府委員(川島孝彦) 是ハ御見解デゴザイマスガ、私共ノ考ヘト致シマシテハ、現在ノヤウニ世ノ中ノ各種ノ變動ガ激シタナリマス、五年デモ足リナイデハナイカ、寧ろ簡易ナル調査ヲ毎年、或ハ二年置キ位ニスル必要ガアルノデハナイカト云フ風ニ考ヘテ居リマス

○村上一君 私人質問ハ一應是デ終リマシタ

○男爵井田馨楠君 私人恩給法ノ件ニ付キマシテ極メテ簡單ナ事ヲ一二御伺

○政府委員(平木弘君) 誠ニ仰セノ通りデ、入レタ方ガ適當デアリマスルガ、是ハ從來ナクテモ實質上差支ヘナカッタ爲、斯ウ云フ風ヲ取扱ニナツテ居リマスノデ、實ハ入レテ居リマセウガ、本當ヲ申シマス、入レタ方ガ適當ト考ヘ

○男爵井田馨楠君 ソレカラハ主ニ軍ノ方ノ御關係ニナルカモ知レマセウガ、ヨク俗ニ玉碎部隊ト云フ言葉ガ使ハレテ、是ハ使ツテハイカヌト云フコトヲ云ハレテ居リマスガ、何ト云フ言

葉ヲ使ツテ宜イカ分リマセウカラ、玉碎ト云フ言葉ヲ使ハシテ戴キマスガ、玉碎部隊ト云フノハ所謂玉碎デアルカラ、全部ガ戦死ヲサレテ居ル譯デアル、斯ウ云フ方ノ恩給ノ取扱、是ハ事實ニ於テドウ云フ風ニナツテ居ルノデアリマスカ、全ク戦死トシテ發表サレテ居ルカ、或ハサレテ居ナケレバドウ云フ風ニ爲スベキデアルコト云フ、此ノ事ヲ御伺ヒ致シテ置キタイノデアリマス、是ハ玉碎部隊バカリデナク、海軍デ云ヒマス、或艦ガ沈没シタト云フ際ニ生死不明者ガ出ル、果シテ全員ガ全ク死シマシタノカ、或ハ何處カノ島ニ漂流シテ一人其處ニ生キ延ビテ居ル人ガアルノデハナイカ、斯ウ云ツタ場合モ同ジ意味ニナルノデアリマスガ、今回ノ戰爭ニハ斯ウ云フ場面ガ非常ニ多イト思フノデアリマスガ、實際ニ於テ是ハドンナ風ニ御取扱ニナツテ居リマスカ、之ヲ御伺上申上ゲタイト思ヒマス

○政府委員(平木弘君) 今ノ問題ハ陸海軍ノ説明員ニ説明サセタイト思ヒマスガ……

○委員長(黒崎定三君) 説明員カラ説明サシテ差支ゴザイマセウカ

○男爵井田馨楠君 結構デス、御願ヒ致シマス

○説明員(菊地俊雄君) 陸軍ニ於キマシテハ、現地ニ於ケル部隊長ガ戦死ヲ確認シマス、部隊長以下戦死ノ場合ニ於テハ、内地ニ留守擔任ノ部隊ガ居リマスノデ、其ノ上級部隊ニ於テ戦死ノ確認ヲ致シマス、ソレニ依リマシテ、努メテ簡便ナル方法ヲ以テマシテ、迅速ニ恩典ヲ受ケルコトガ出來ルヤウニ處理致シテ居リマス、具體的ニ申上ゲマスレバ「アツ」デ玉碎致シマシタ場合ニハ、北部軍ニ於キマシテ戦死ヲ確認致シマ

○政府委員(川島孝彦) 定期的ニ今迄國勢調査ヲ施行致シマシテ、ソレニ依ツテ統計上ノ計算ヲシテ將來ノ人口ノ推計ヲ致スコトガ一ツノ國勢調査ノ目的ニナツテ居リマス、其ノ點ニ付キマシテハ其ノ推計ノ材料ガナクナリマス關係上、將來ノ人口ノ推計ハ非常ナ支障ヲ來スドラウト思ヒマス、ソレカラハ言フ迄モナイコトデアリマスガ、最近ノ國民ノ情勢ト云フモノハ、此ノ調査ガ施行サレマシタナラバ、少クとも一年間位ノ間ニハ分リマスガ、ソレガ分ラナイ、種々ノ點ニ於テ支障ヲ來スト云フヤウナ點ガ考ヘラレマスルシ、是ハ亦一面ノ考ヘ方デアリマシテ、斯ウ云フ戰時下ニ於テ、非常ニ數字ノ不確カナモノガ出來マス、或ハ從來ノ國勢調査ノ利益ヲ阻害スルコトニハ酷ク缺點ハナイト云フヤウナ點ハ考ヘラレ

○村上一君 是ハ此ノ國勢調査ヲ省略スル方ニ飛躍スル考ニナリマスルガ、最初出來マシタ法律ハ十年毎ノ範圍ノ國勢調査ヲ見テ居ツテ、其ノ後ノ改正ニ依リマシテ五年毎ニ簡易ナル國勢調査ヲ行フコト云フコトニナリマシタ、其ノ簡易ナル國勢調査ハ獨リ昭和二十年ノ分ニ限ラズ、當分ノ内ニテ省略スルコト云フヤウナコトガ考ヘラレナイデセウカ

○政府委員(川島孝彦) 是ハ御見解デゴザイマスガ、私共ノ考ヘト致シマシテハ、現在ノヤウニ世ノ中ノ各種ノ變動ガ激シタナリマス、五年デモ足リナイデハナイカ、寧ろ簡易ナル調査ヲ毎年、或ハ二年置キ位ニスル必要ガアルノデハナイカト云フ風ニ考ヘテ居リマス

○村上一君 私人質問ハ一應是デ終リマシタ

○男爵井田馨楠君 私人恩給法ノ件ニ付キマシテ極メテ簡單ナ事ヲ一二御伺

ス、ソレニ依ツテ書類ヲ調製致シマシ
テ陸軍省ニ申達ヲ致シマス、戦時ノ場
合デアリマシテ證據書類等ノ出来兼ネ
ル狀況デアリマスノデ、特別ニ恩給局
ト連絡ヲ致シマシテ、簡便ナル方法ヲ
以チマシテ速カナル恩給ノ受給ノ手續
ヲ致シヤウニ致シテ居ル譯デアリマス
○説明員(浮田信家君) 陸上ノ場合ハ
只今陸軍關係カラ申上ゲタト同ジデア
リマス、海上ノ場合ゴザイマスガ、
其ノ艦船ガ戦闘ヲ致シマシテ、其ノ附
近ニ敵ノ艦艇ガナカツタ、沈没シタ後
敵ニ依ツテ收容サレタ形跡ガ萬々ナイ
ト云フ戰況ニ在リマシタモノハ、全艦
戰死トシテ扱ヒマシテ、艦隊長官カラ
ノ報告ニ依リマシテ即刻取扱ツテ居ル
譯デアリマス、若シモ海上戰闘ニ於キ
マシテ、只今ノハ主トシテ相手ガ航空
機ノ場合デアリマスガ、海上部隊ガ附
近ニ居リマシテ、沈没ノ狀況カラ云ツ
テ或ハ收容サレテ居ル者ガアルカモ知
レナイト云フ懸念ノアリマスモノハ、
調査ニ若干期間ヲ取リマシテ、赤十字
情報等ガゴザイマスノデ、ソレニ依リ
マシテ疑ノアルモノハ、當分ハツキリ致
シマス迄保留シテゴザイマスガ、相當
期間經テマシテ疑ノナイモノハ、全艦戰
死シマシタコトニシテ扱ツテ居リマス
○委員長(黑崎定三君) 他ニ尙御質疑
ノ方ハゴザイマセヌカ、別ニ御質疑モナ
イヤウデゴザイマスカラ、大體御質疑
ハ終了シタコトカト考ヘラレマス、仍
テ質疑ヲ終了シ、討論ニ入ツテ採決ヲ
致シタイト思ヒマスガ、如何デゴザイ
マセウカ、御異議ゴザイマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(黑崎定三君) 御異議ナ
イモノト考ヘマス、デハ兩案ヲ一括致シ
マシテ議題トナシ、討論ニ入りタイト
思ヒマス
○村上泰一君 私ハ此ノ兩案ニ賛成致
シマス、恩給法中改正法律案ハ大體ニ
於キマシテ恩給權利者ノ利益ヲ考慮シ
タモノデアリマス、而モソレハ今日
ノ戰局ニ相應シキモノト思ハレマスノ
デ、原案全部此ノ機贊成致シマス、ソ
レカラ國勢調査ニ關スル特別法ハ、當
局ノ御説明ニ依リマシタナラバ、之ヲ
省略スルコトニ相當ナ不安モアルニ違
ヒゴザイマセヌ、併シナガラ今日ノ戰
局ノ狀況ニ鑑ミマシテ、斯様ナ特別ノ
措置ヲ執ルコトモ亦已ムヲ得ナイ次第
ト思ヒマスノデ之ニ賛成致シマス
○男爵井田馨楠君 私モ此ノ兩案ニ贊
成スル一人デゴザイマスガ、國勢調査ノ
方ニ關聯致シマシテハ、委員ノ諸君カ
ラノ御發言モアリ、又政府委員ノ方ノ
御説明ニモ依リマスル如クニ、現在ノ
時局デハ此ノ國勢調査法デケデハ十分
國家ノ態勢ヲ調べ得ルニ足リナイト云
フ情勢ニナツテ居ルノデアリマシテ、
實ヲ言フト斯ウ云フ大戦ノ時コソ斯ウ
云フ國勢調査ガ最モ明カニナツテ居ル
必要ガアルト思フノデス、其ノ場合ニ
於テ斯フ云フ假令假リノ國勢調査ト云
ヒナガラ、之ヲ修正ヲシナキヤナラヌト
云フコトハ、實ヲ言フト甚ダ遺憾ニ堪ヘ
ナイ、政府委員ノ御説明ノ如クニ、各
國モ此ノ國勢調査ノ動向ガ非常ニ變ツテ
來テ居ル此ノ際、現在ノ國勢ノ情勢ヲ、
是モ將來ノ爲ニ資料ヲ取ツテ御置ニナ
ル必要モ多分ニアルト思フノデアリマ
シテ、勿論サウ云フコトハ政府自身ト
シテハシテオイデダト思ヒマスガ、此
ノ希望ヲ御附加ヘ申上ゲ、更ニ先程各
委員カラノ御意見ノ如クニ之ヲ一元の
ニ爲サレマシテ、サウシテ如何ナル場
合ニ於テモ其ノ國勢ガ分ルヤウニ、何

時デモ分ルヤウナ風ナ仕組ニシテ置ク
ト云フコトガ、今後益々必要デアルト思
ヒマス、斯ウ云フ意見ヲ附シマシテ此
ノ國勢調査法ノ今回ノ修正ニ付テ贊意
ヲ表スル一人デアリマス、恩給法ノ改
正ニ付キマシテモ、是ハ此ノ恩給法ヲ
拜見致シマシテモ、現政府ノ恩給觀念
ガ明瞭デアリマス、一時恩給廢止ト云
フ論スラ相當高カツタノデアリマスル
ガ、此ノ戰局ニ於テ斯様ナ議論ガ若シ
事實行ハレテ居ルト云フコトニナリマ
スルト云フト、是ハ戰地ニ行ツテ實
際生命ヲ抛ツテ居ル人ハ、實際斯様ニ
コトヲ何等念頭ニ置イテヤツテ居ル譯
デハアリマセヌケレドモ、斯様ナル議
論ガ行ハレルト云フコトハ、此ノ際大イ
ニ慎重ナケレバナラヌ問題デ、是ハ政府
ガ斯様ナ法ヲ御出シ下サツテ居ルト云
フコトニ依リマシテ、政府ノ方針ガ
ハツキリ致シテ居リマス、私ガ只今此
處ニ「ソ」聯ニ於キマス、最モ社會情勢
ノ違ツテ居ル「ソ」聯ニ於テ恩給法ガア
ルカドウカト云フコトヲ御尋ネシマシ
タノモ、畢竟此ノ恩給ノ法ノ本質ト云フ
モノガ、過去ノ社會情勢カラ段々積ミ
重ナリマシテ今日ノ社會情勢、戰局ト
云フモノヲ多分ニ持ツテ段々ト發展シ
テ來タ、尤モ但シ是ハ日本ノ國體ニ即
シテ出テ來テ居ル恩給法デアルト云フ
コトハ申ス迄モナイ、明カデアリマス
ルガ、一面此ノ社會情勢ノ變化ニ依リ
マシテ色々ナ點カラ恩給法ガ不要
デアルト云フ論ガ、將來或ハ起ル
コトヲ豫想シ得ナイトモ限リマセヌ、
現在ハ到底起キマセヌ、現在ハドナタ
モ御贊成デアアル、將來ハ其ノ點ニ付テ
實ハ危ンデ居ル私ハ一人デアアルノデア
リマス、從ヒマシテ此ノ恩給法ト云フ
モノハ條文ノ難易ト云フコトモ、多ク
ノ御改正ヲ戴カナケレバナラヌト云フ

コトハ、只今ノ御贊成ノ御言葉ニモア
リマシタガ、恩給法ノ根本ト云フコト
ニ付テ、尙世界ノ情勢ト國內ノ情勢ト
ヲ能ク御吟味ヲ下サイマシテ、國
家百年ノ後ニ於ケル恩給ト云フコトニ
付テノ方法ヲ、一ツ只今カラ御考ヲ戴
ク必要ガアルノデナイカト思フノデア
リマス、現在ノ法ノ上ニ於キマシテ、
大戦ヲ遂行シテ行ク上ニ於キマシテハ、
斯様ナ法ノ生レテ來ルト云フコトハ、
誠ニ必然性ガアルト思ヒマス、私ハ恩
給ヲ廢メルト云フ議論ヲ申シテ居ルノ
デハアリマセヌ、能ク御吟味
ヲ下サイマシテ、戰爭ニ行ツテ居ル人
モ、遺家族等モ安心ガ出來ルヤウニ考
ヘテ戴キタイノデアリマス、斯様ナ事
ヲ附加ヘマシテ、私ハ此ノ恩給法中改
正法律案ニ御贊成ヲ申上ゲル次第デゴ
ザイマス
○委員長(黑崎定三君) 私ノ考ヲハツ
キリサセマス爲ニ、井田男爵ノ只今ノ
御發言ニ付テ一應御尋ネヲ致シテ置キ
タイト思ヒマスガ、只今ノ國勢調査ニ
關スル法律案並ニ恩給法ニ付キマシテ
ノ御希望御意見ガゴザイマシタ、是ハ
井田男爵ノ御希望ノ御意見ト心得マシ
テ差支ゴザイマセヌカ
○男爵井田馨楠君 私ハ其ノヤウニ考
ヘマス
○委員長(黑崎定三君) 外ニ御發言モ
ゴザイマセヌケレバ、兩案一括シテ採
決ヲ致シタイト思ヒマス、即チ恩給法
中改正法律案及明治三十五年法律第四
十九號國勢調査ニ關スル法律ノ昭和二
十年ニ於ケル特例ニ關スル法律案、此
ノ二案ハ政府提出ノ原案通り可決スル
コトニ致シマシテ、御異存ゴザイマセ
ヌカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(黑崎定三君) 御異議ナ
イト認メマス、全會一致御贊成ノコト
ト認メマス、デハ是デ本委員會ニ付託
セラレマシタ法案ハ、全部議了ヲ致シ
タ次第デアリマス、是ニテ散會致シマ
ス
午後二時五十八分散會
出席者左ノ如シ
委員長 黑崎 定三君
副委員長 男爵關 善壽君
委員 侯爵東郷 彪君
伯爵渡邊 昭君
子爵京極 高修君
子爵藤井 兼誼君
男爵井田 馨楠君
村上 恭一君
下條 康廣君
長谷川 越夫君
大橋 理祐君
下出 民義君
政府委員
内閣恩給局長 平木 弘君
内閣統計局長 川島 孝彦君
法制局長官 三浦 一雄君
法制局參事官 佐藤 基君
說明員
恩給局書記官 平塚 量三君
法制局參事官 今枝 常男君
陸軍中佐 菊地 俊雄君
海軍大佐 浮田 信家君

昭和二十年一月二十四日印刷

昭和二十年一月二十五日發行

貴族院事務局

印刷者 印刷局